brother

カッティングマシン 取扱説明書

CMZ01シリーズ

●ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
 ●取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

IMPORTANT:

商標

READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.

By downloading, copying, installing or using the software, you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

Intel License Agreement For Open Source Computer Vision Library

Copyright © 2000, Intel Corporation, all rights reserved. Third-party copyrights are the property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistribution of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistribution in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall Intel or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

All information provided related to future Intel products and plans is preliminary and subject to change at any time, without notice.

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、本取扱説明書で機能や使い方を 十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。

また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

本取扱説明書に記載されていない方法で使用した場合、火災・感電・やけどや窒息などによるけが・故障の 原因となります。

重要なお知らせ

●本製品は日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。

- This machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な 条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- その他の製品情報については、ブラザーのホームページ(http://www.brother.co.jp/)を参照ください。

安全にお使いいただくために

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

▲ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の可能性が想定 される内容を示します。
▲ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示し ます。
重要	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害が発生する可能性が想定される内容を 示します。

	特定の条件において、発火の可能性があることを意味しています。
	特定の条件において、感電の可能性があることを意味しています。
\bigcirc	「してはいけないこと」禁止事項を意味しています。
	外部の火気によって、製品が発火する可能性があることを意味しています。
8	製品の特定場所に触れることによって、傷害が起こる可能性があることを意味しています。
(製品を分解することによって、感電などの傷害が起こる可能性があることを意味しています。
8	製品を濡れた手で扱うと、感電する可能性があることを意味しています。
(製品を水にぬらすと、感電する可能性があることを意味しています。

0

「しなければならないこと」義務行為を意味しています。

電源プラグをコンセントから抜くことを意味しています。

安全上のご注意

下記の注意文に従って、本製品を安全にご使用ください。

電源/ AC アダプター

		▲ 警告
	A	AC アダプター、電源コードは踏みつけられることのない安全な場所に配置してください。次のような、電源コードを破損させる行為はしないでください:傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、引っぱる、ねじる、たばねる、物をのせる、はさみ込む、金属部に接触させる、折り曲げをくりかえす、ぶらぶらさせる、壁に押しつけるなど。 火災や感電、故障の原因となります。
		本製品専用の AC アダプター、電源コードの組み合わせ以外は使用しないでください。火災・感 電・故障の原因となります。 本製品専用の AC アダプターや電源コードを本製品以外には使用しないでください。
		AC アダプターは家庭用コンセント(AC100V、50/60Hz)以外では使用しないでください。火災・ 感電・故障の原因となります。
		DC 電源またはインバーター(DC-AC 変換装置)を接続してのご使用は絶対におやめください。火災、感電の原因となります。本製品を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格を持つ専門家にご相談ください。
		電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。火災や感電、故障の原因となります。
le		本製品を電源コードの上にのせないでください。火災や故障の原因となります。
8		火気・熱機器に近づけないでください。AC アダプターの被覆が溶けて火災・感電の原因となりま す。
		長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず AC アダプターを本製品およびコンセントから 抜いて保管してください。
		清掃など本製品をお手入れするときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。感電の おそれがあります。
	Â	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずにプラグの本体(金属でない部分) を持って引き抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。
		傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災や感電、故障の原因となりま す。 電源コードが傷ついたときは、使用しないでください。
		たこ足配線はしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
		AC アダプターの端子に異物を入れないでください。火災、感電、やけどの原因となります。
8		電源プラグに液体、金属物、ほこりを付着させないでください。また、水がかかるような場所で本 製品を使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

▲ 警告



0

AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電・けがの原因となります。 、点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

電源プラグがほこりなどで汚れているときは、コンセントから抜いて、乾いた布で拭き取ってくだ さい。汚れたままで使用すると、火災の原因となります。



 \bigcirc

いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電 源コードが抜けなくなります。



設置場所

本製品は、平坦で傾きのない、安定した、振動や衝撃を受けない場所に設置してください。 本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。 温度:5~35℃ 湿度:20~80%

♪ 警告 (X 直射日光のあたる場所、急激な温度変化や湿度変化がある場所、湿度の高い場所(台所や風呂場、 加湿器の近くなど)、結露の発生する場所、ほこりの多い場所には設置しないでください。温度や 湿度の高い場所でのご使用や保管は避けてください。漏電による感電や火災、故障の原因となります。 火気や熱器具、揮発性可燃物や極度な高温を発するものの近くに設置しないでください。火災や感 電、故障の原因となります。 (\mathbb{N}) 可燃性のスプレー製品などを使用する部屋では使用しないでください。やけどなどのけがの原因と 10 なります。 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及 ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。 野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れ 仰 たときは、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご連絡ください。 本製品に金属や液体が入らないように、本製品の上や上方に、下記のものを置かないでください。 火災や感電、故障の原因となります。 クリップやホチキス針などの金属 - ネックレスや指輪などの貴金属 コップ、花瓶、植木鉢など、液体が入った容器 -ペットを本製品に近づけないようにしてください。 /4` 10 誤って本製品の中に何らか異物が入った場合は、電源コードを抜いてから、お買い上げの販売店ま たはお客様相談室にご相談ください。

▲ 注意



ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所に設置しないでください。また、本製品のいかな る部分も机から突き出さないように設置してください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原 因となります。

0

本製品は段差のない平らな場所に設置してください。 段差にマットがひっかかり、正しく動作できなくなります。





振動の激しい場所や、電気的なノイズの多い場所、静電気の多い場所では使用しないでください。 本製品が正常に動作しないことがあります。

安全な操作のために

		▲ 警告
		本製品を落下させた場合、破損、故障した場合、水や異物が入った場合は、すぐに AC アダプターを本 製品およびコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご連絡ください。そのま まご使用になると、火災や感電の原因となります。
	Â	使用中に停電したとき、雷が鳴りはじめたときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や 感電、故障の原因となります。
V	® \$	使用中や保管時に、異臭を感じたり、発熱・発煙・変色・変形、そのほか今までと異なることに気がつ いたときは、AC アダプターを本製品およびコンセントから抜き、使用を中止してください。そのまま ご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめ ください。
) A	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびけがの原因となります。 指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理については、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご連 絡ください。
6	\mathbf{O}	本製品が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管する か廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
		取扱説明書に記載されているお手入れを行う際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。 火災や感電、故障の原因となります。



	▲ 注意
Ś	刃を出した状態で、ホルダーの先端を手や指で触ったりこすったりしないでください。けがをするおそ れがあります。 ホルダーを使用していないときは、刃はホルダーの中に収めてください。
	製品から取り外したホルダーは、必ず刃をホルダーの中に収め、保護キャップを装着してください。刃が出た状態でホルダーを放置しないでください、けがをするおそれがあります。本体にホルダーを取り 付ける前に、保護キャップを取り外してください。 * 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。
\bigotimes	マットの端を手や指でなぞったりこすったりしないでください。けがをするおそれがあります。
\bigcirc	お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するとき は、お子様がけがをしないよう十分注意してください。
	本製品は、必ず取っ手部を持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落と したりして、けがの原因となります。
\oslash	本製品を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となり ます。
0	本製品には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとけが・ 故障の原因となります。

	画明
0	カットするときは、カットする素材に適した刃の出し量に調整してください。刃を出しすぎると、刃が 欠けたりマットが切れたりする原因となります。
\bigcirc	欠けた刃は使用しないでください。正しくカットできなくなります。刃が折れたときは、刃の破片を カットする素材から取り除いてください。刃の破片を取り除く際には、ピンセットなどを使用し、素手 で直接刃に触らないようにしてください。
\bigcirc	マットが動く(排出される)範囲に AC アダプターや電源コードなど、動きを妨げる物を置かないでく ださい。正しく動作できなくなります。
\bigcirc	マットの上に大きな物を置かないでください。
\bigcirc	マットを無理に引っぱったり、折ったりしないでください。マットが破損すると、カットやドロー、ス キャンなどの操作ができなくなります。
\bigcirc	破損したマットを使用しないでください。
\bigcirc	ご使用前にマットの端が汚れていないことを確認してください。マットの種類を読みとれず、本製品が 正しく動作しなくなります。端が汚れていた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
\bigcirc \bigcirc	本製品専用のマットを使用してください。本製品に適さない、金属シートのような固い素材をカットし ないでください。故障の原因となります。
0	ラメや金属箔など、表面から剥離しやすい装飾が施された素材は、使用を避けてください。動作中に剥 離した装飾がスキャナーやローラーに付着して、故障の原因となります。また、刃が破損する原因とな ります。
\bigcirc	本製品動作中に、マットを無理に引っ張ったり、押したりしないでください。刃やホルダーの破損の原 因となります。
\bigcirc	 長期間、カットする素材をマットに貼ったままにしないでください。マットの粘着剤が素材に移るおそ れがあります。
0	マットは、高温・多湿・直射日光を避け、室温で保管してください。

	重要
	非常時にやむをえずキャリッジを手で動かす場合は、ゆっくりと動かしてください。速く動かすと故障 の原因となります。
	ホルダーを取り外すときは、キャリッジが動いていないことを確認してください。
\bigcirc	操作中に電源コードをぬいたり、USB メモリーを取り外したりしないでください。USB メモリーや データが壊れるおそれがあります。
\bigcirc	本製品の電源ジャックや USB ポートに異物を入れたり、ふさいだりしないでください。
	USB ポートには、USB メモリー以外は接続しないでください。故障の原因となります。
\bigcirc	本製品でカットやドロー、スキャンをしている間は、タッチパネルに触らないでください。
\bigcirc	本製品に注油はしないでください。故障の原因となります。
\bigcirc	本製品のお手入れには、シンナー・ベンジン・アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。塗 装がはがれたり、傷の原因となります。本体の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
\bigcirc	本製品に貼られているラベル類(製造番号が記載されたラベルなど)ははがさないでください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、 この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

スキャンに関するご注意

スキャンを行うときは、以下の点にご注意ください。

- 法律で禁止されているもの(絶対にスキャンしないでください)
 - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
 - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
 - 未使用の郵便切手やはがき
 - 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券
- 著作権のあるもの
 - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でスキャンすることは、禁止 されています
- その他注意を要するもの
 - 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手)、定期券、回数券
 - 政府発行のパスポート、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

スキャナー読み取り画像の原稿再現性について

本製品を使用してスキャン素材を読み取った後で、当該スキャンデータがお客様の必要とする精 度・品質を満たしていることをご確認ください。

- スキャンデータの一部に欠落や損失が起こることがありますので、以下の点にご注意ください。
- スキャン素材の状態によっては、読み取り時にかすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、スキャンデータの一部 または全部が欠落することがあります。
 - ▶ スキャン素材にシワ・折れなどがないことをご確認ください。また、スキャン素材は正しくマットにセットしてください。
- 本体内部がよごれた状態でスキャン素材の読み取りを行うと、かすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、スキャン データの一部または全部が欠落することがあります。
- ▶ 本体内部をこまめに清掃してください。
 読み取り設定(スキャンサイズ・解像度)によっては、スキャン素材が以下のように読み取られることがあります。
 - 解像度不足で画像が不鮮明となる
 - 画像の一部が欠ける、またはサイズが縮小される
 - スキャン素材の途中以降のスキャンデータが欠落する
 - スキャンデータの縁に余白が付加される
- 次のような材質の素材は、スキャンニングしないでください。
 - クリップやホチキスの針がついている
 - インクが乾いていない
 - 金属製、OHP シート
 - 光沢シート、鏡面加工されている
 - エンボス加工が施されたプラスチックカード
- 所定外のスキャン素材の場合、または所定内のスキャン素材であってもその状態(シワ、折れ、スキャン素材のセット 不備など)や本製品内の送り機構・消耗品の状態によりスキャン素材が詰まることがあります。この場合、スキャン データの一部または全部が欠落することがあります。(スキャン素材が詰まることによりスキャン素材を損傷する可能性 があります。)
- 蛍光マーカーを使用したスキャン素材の場合、マーカー色や濃度により色を読み取れない、または色調が忠実に再現されないことがあります。

目次

はじめに	1
重要なお知らせ	1
安全にお使いいただくために	1
本書で使用されている記号 安全上のご注音	
製品の特徴	9
模様(模様モード)	9
スキャン(スキャンモード)	9

1準備・設定10

各部	Bの名称とはたらき	10
	正面	10
	背面	10
	操作パネル	10
模材	ŧをカットする前に	11
	緩衝材を取り外す	11
	操作パネルの角度を調節する	11
	本体の電源を入/切する	11
	液晶画面の操作	12
	紙/布を準備する	12
	マットと刃の組み合わせ	13
	刃の出し量を調整する	19
	ホルダーの取り付け/取り外し	20
	試し切りをする	20
本体	、設定	24
	設定画面	24
	オートシャットダウン	25

2基本操作......26

模様をカットする.		
チュートリアル 1	模様をカットする.	
チュートリアル 2	多色の模様をカッ	トする 28
模様を選択する		32
1つの模様を選択す	する	32
複数の模様を選択	する	32

3 応用操作......34

カット/編集機能	34
模様を編集する	34
模様を編集する-多色の模様	35
模様レイアウト画面	36
レイアウトした模様を編集する	36
模様を結合する	
(複数の模様のアウトラインを合体させる)	37
模様を自動でレイアウトする	39
背景画像をスキャンする	39
文字入力機能	41

メモリー機能	
データを保存する	42
データを呼び出す	42
ドロー機能	44
ドローする	44
ドロー線の周囲をカットする	45

4 スキャン機能 48

スキャンした素材をカットする

(ダイレクトカット)	48
チュートリアル 3	
スキャンした素材をカットする	48
ダイレクトカットの応用機能	50
カットデータを作成する	51
チュートリアル4 カットデータを作成する 画像を編集する	51
画像をスキャンする(USB に保存)	55
スキャンする際の注意	55
チュートリアル 5	
USB メモリーにスキャンデータを保存する	55

<u>5 付録......57</u>

消耗品	.57
交換の目安	57
りを交換する トエュゎ	57
ゆナ入れ	.59
掃除する	59
スキャナーガラスを掃除する	60
画面を調整する	61
困ったとき	.62
エラーメッセージ	.65
ソフトウェアのアップグレードについて…	.67
別売品	.68
仕様表	.68
あ 21	~~

製品の特徴

模様(模様モード)

模様を選んで、お好みのレイアウトに編集できます。紙や布をセットするだけで、きれいなパーツが 手軽に作れます。





豊富な種類の内蔵模様を使って、簡単にパーツ作りが できます。

スキャン(スキャンモード)

画像や写真、自分で描いたイメージ画などをスキャン して、オリジナルカットデザインを作成できます。そ のデザインをカットしたり、データとして保存したり することもできます。



充実した編集機能を使って、取り込んだデザインを簡 単に編集できます。編集したデザインはいつでも保 存・呼び出しができます。

ホーム画面



各部の名称とはたらき

正面



① 操作パネル

液晶タッチパネルと操作ボタンを使って、本製品の操作と設定ができます。操作パネルの角度は3段階に調節することができます。詳しくは、P.11 「操作パネルの角度を調節する」を参照してください。

② キャリッジ

カットやドローのとき、ホルダーを移動させます。



1 ホルダー

キャリッジにセットして、紙や布をカットまたはド ローするときに使用します。用途に合わせて、専用の ホルダーを使用してください。

2 ホルダーガイド

ホルダーを固定します。

- ③ ホルダー固定レバー ホルダーを固定するときにレバーを下げます。 ホルダーを取り外すときにレバーを上げます。
- ③ 取っ手 本体を移動させるときは、取っ手に手をかけてください。
- ④ マット送り
 マットがここから送られます。マットは、両端に設置され
- たローラーによって送られます。 ⑤ **フロントトレイカバー**

送りローラー、キャリッジ、ホルダーなどを保護しま す。本製品を使用するときは、カバーを開いてくださ い。

背面



- USB ポート データの保存や呼び出しをするときに、USB メモ リーを接続します。
- ② スロット

動作中、マットが出たり入ったりします。排出される マットの障害にならないよう、スロットのまわりに物 を置かないでください。

- ③ 電源ジャック
- ④ AC アダプター
- ⑤ 電源コード

操作パネル



- ① 電源ボタン
 - 電源を入/切します。
- ② ホームボタン ホーム画面(本製品を操作するためのスタート画面) を表示します。
- 設定ボタン
 各種設定を行う設定画面を表示します。詳しくは、
 P.24 「設定画面」を参照してください。
- ④ 液晶画面 操作画面や模様のプレビュー、エラーメッセージを表示します。
- ⑤ 送りボタン 本体にセットされたマットを挿入、または排出しま す。マットを挿入/排出するときは、必ず送りボタン を押してください。
- ⑥ スタート/ストップボタン

カットやドロー、スキャン操作を開始・停止します。 ボタンが緑色に点灯しているときは操作が可能です。

模様をカットする前に

素材を準備してから試し切りまでの操作を説明します。

緩衝材を取り外す

本製品の電源を入れる前に、固定テープと緩衝材を 取り外してください。



操作パネルの角度を調節する

操作パネルの角度は3段階に調節することができま す。



操作パネルを収納するときは、パネルをいったん垂 直になるまで持ち上げてから、背面に倒して収納し てください。

パネルの角度を低くしたいときは、パネルをいった ん垂直になるまで持ち上げてから、再度角度を調節 してください。



操作パネルを低くしたいときは、必ず上記の手順で低くしてください。無理に操作パネルを倒すと、破損のおそれがあります。

本体の電源を入/切する

AC アダプターに電源コードを接続し、AC ア ダプターを本体に接続します。



2 電源プラグを家庭用電源コンセントに差し込みます。

☑ 操作パネルの◎を押します。

オープニング画面が表示されたら、画面上のどこか を押してください。



▶ 以下のメッセージが表示されたら、「OK」を押します。



▶ ホーム画面が表示されます。



🖉 お知らせ-

- 液晶画面は、液晶の特性上、輝点(常時点灯している点)と黒点(点灯しない点)が存在することがあります。輝点・黒点の発生は、製品の不良または故障ではありません。
- 4 電源を切る場合は、操作パネルの
 ③を押し、 電源を切ります。
- 5 電源プラグを家庭用電源コンセントから抜きます。
- AC アダプターを本体から取り外し、電源コードを AC アダプターから取り外します。
 - 岗 お願い ――
 - AC アダプターのコードを AC アダプターのま わりに巻きつけたり、コードを曲げたりしない でください。コードの破損の原因となります。



液晶画面の操作

操作画面はタッチパネルです。操作する際は、付属 のタッチペンを使用してください。



 シャープペンシルやドライバーなど、先のと がったものや硬いもので画面を押さないでくだ さい。故障の原因となります。

紙/布を準備する

カットやドロー、スキャン(ダイレクトカット)の 素材は、以下の条件に従って準備してください。

条件	紙	布	
大きさ	(12" × 12" (305 mm × 305 mm) のマッ トを使用したとき) 最大 305 mm × 305 mm カット/ドローの最大動作範囲は、 296 mm × 298 m		
厚さ*	0.1 mm \sim 0.3 mm	0.2 mm \sim 1.5 mm	
種類	スクラップブッキ ング用紙、 カードストック、 ベラム	コットン生地、 フェルト	

* 使用する素材によって、推奨する厚みは異なります。

お願い --

 ラメや金属箔など、表面から剥離しやすい装飾 が施された素材は、使用を避けてください。動 作中に剥離した装飾がスキャナーやローラーに 付着して、故障の原因となります。また、刃が 破損する原因となります。
 そのような素材を使用した場合は、使用後に本 体底面にあるスキャナーガラスを掃除してくだ さい。(→ P.60 参照)

🖉 お知らせ 🗕

- 別売の12"×24" (305 mm×610 mm) マットを 使用して、カット/ドローする場合の最大動作 範囲は、296 mm×603 mmです。
- 表面がでこぼこしているような布をカットする 場合は、裏面を上にして布をマットに貼ると カットしやすくなります。

マットと刃の組み合わせ

カット/ドローに使用する素材ごとのアクセサリーの組み合わせについては、以下の表を参照してください。 素材のカットに必要なアクセサリーが製品に付属していない場合は、別売品を購入してください。

	刃(ホルダー)	マット	シート	推奨する組み合わせ
薄い紙(上質紙)		弱粘着カッティング マット(青緑色)	-	① (→ P.13 参照)
普通の厚みの紙 (ケント紙)	刃(青緑色)		-	② (→ P.14 参照)
薄い布(キルトピース用)			布用粘着サポートシート	③ (→ P.14 参照)
薄い布 (キルトピース以外の用途)		カッティングマット (吉緑・姕母)	アイロン接着シート	④ (→ P.16 参照)
厚い布 (キルトピース以外の用途)	* 厚物用刃 (紫色)		(白色剥離紙)	⑤ (→ P.18 参照)

* 厚物用刃は、フェルトやデニムなど厚手の布(0.5 mm~1.5 mm)に使用してください。

■ ① 薄い紙(上質紙)



- ①刃
- ② ホルダー (青緑色)
- ③ 弱粘着カッティングマット (青緑色)

素材をマットに貼る(薄い紙の場合)

マットの接着面から保護シートをはがします。





- 保護シートは、マットからはがした後も捨てず に保管してください。
- マットを使用しないときは、接着面のお手入れ をした後に保護シートを貼って保管してください。接着面のお手入れについては、P.59 「マットの掃除」を参照してください。

2素材を試し貼りします。

素材をマットに貼る前に、マットの接着面の端を 使って試し貼りをしてください。

- 試し貼りでは、以下の点をご確認ください:
- はがしたときに、素材の色落ちがないか
- はがしたときに、素材が破れていないか、変形 していないか

試し貼りで不具合が生じた場合は、素材を変更して ください。

マットの接着面に素材を貼ります。





① スパチュラ

- 刃
 ホルダー(青緑色)
- ③ カッティングマット(青緑・紫色)
- ④ 弱粘着カッティングマット(青緑色)
- (表面が滑らかな紙をカットするとき)

素材をマットに貼る(普通の厚みの紙の場合) P.13「素材をマットに貼る(薄い紙の場合)」 の手順を参照してください。

素材をマットからはがす(普通の厚みの紙の場合) P.14 「素材をマットからはがす(薄い紙の場 合)」の手順を参照してください。

■ ③ 薄い布(キルトピース用)



刃
 ホルダー(青緑色)
 カッティングマット(青緑・紫色)
 布用粘着サポートシート

素材をマットに貼る(キルトピース用の薄い布の 場合)

カッティングマットにキルトピース用の薄い布 を貼りつける際は、布用粘着サポートシートを 使用してください。ぬいしろが付加されていな い模様には使用できません。ぬいしろが付加さ れていない模様をカットする際は、アイロン接 着シートを使用してください。(→P.16参照) 布用粘着サポートシートは、粘着力が弱くなる まで、繰り返し使用できます(一度マットから はがしたシートは使用できません)。



素材をマットからはがす(キルトピース用の薄い 布の場合)

刃の出し量の調整(→P.19参照)、ホルダーの 取り付け(→P.20参照)、試し切り(→P.20 参照)を行い、カットの準備をします。素材を カットした後は、付属のスパチュラを使って ゆっくりと素材をはがしてください。その際、 布用粘着サポートシートを一緒にはがさないよ うに注意してください。



① カットした模様

② 布用粘着サポートシートはマットに残ります。③ スパチュラ

- ՝ お願い -
- 下記のような条件で布をはがすと、布用粘着サポートシートがはがれることがあります。
 - 連続して使用したため、マットと布用粘着 サポートシートの粘着力が弱くなっている とき
 - 布用粘着サポートシートが強く貼りつく布 を使用したとき
- 上記の場合、スパチュラで布用粘着サポート シートをおさえて、カットした布を手ではがし てください。
- カット後は、布用粘着サポートシートに残った 繊維を取り除いてください。
- アイロン接着シートを接着した布や紙をマット に貼るときは、マットから布用粘着サポート シートをきれいにはがすか、サポートシートを 貼っていない、別のマットに素材を貼ってくだ さい。
- 布用粘着サポートシートを貼ったマットに、素 材を長期間貼りつけたままにしないでください。素材に粘着剤が浸み込みます。

布用粘着サポートシートの使用上の注意

- サポートシートの粘着力が弱くなったり、カット中に布がよじれたりする場合、新しいサポートシートに交換してください。
- マットからサポートシートをはがしたり、サポートシートを交換するときは、スパチュラを使用して丁寧に古いサポートシートをはがしてください。
- マットを使用しないときは、サポートシートに 保護シートを貼って保管してください。
- サポートシートを貼りつけたマットを、一定期 間使用しなくなる場合、サポートシートをはが してから接着面に保護シートを貼った状態で マットを保管してください。
- マットを保管してください。 • 一度マットに貼りつけたサポートシートは、は がして再利用することはできません。
- サポートシートは室温で保管し、高温・多湿・ 直射日光を避けてください。
- サポートシートを保管する際は、折り曲げない でください。

■ ④ キルトピース以外の用途に使用する薄い布



刃
 ホルダー(青緑色)
 カッティングマット(青緑・紫色)
 アイロン接着シート(白色剥離紙)

素材をマットに貼る(キルトピース以外の用途に 使用する薄い布の場合)

キルトピース以外の用途に使用する布の裏に、 アイロン接着シートをアイロンで貼りつけた 後、マットに貼りつけます。

アイロン接着シートは両面が接着面になってい るため、アップリケ用の模様のカットに適して います。

いったん接着シートを布の裏に貼りつけると、 はがせません。キルトピース用の布には、アイ ロン接着シートは使用せずに、布用粘着サポー トシートを使用してください。(→ P.14 参照)

🖉 お知らせ =

• 接着シートはアイロンのかけられない素材や凹 凸のある布などには使用できません。



👸 お願い

 素材はマットの接着面の貼り付けエリア(方眼 野の範囲)内に配置してください。素材が貼り 付けエリアからはみ出すと、マットを送るロー ラーに引っかかり、破損するおそれがありま す。

📿 お知らせ 🗕

- マットに上下の違いはないので、どちらからで も本体に挿入できます。
- 貼りつけた布の布目が、上下まっすぐになるように配置してください。内蔵の模様は布目に合わせて、自動レイアウトされます。

素材にしわが寄ったり、端がめくれたりしな いように、しっかりとマットに貼りつけます。

 素材のしわやめくれは、マットを挿入したとき に引っかかる原因となります。

素材をマットからはがす(キルトピース以外の用 途に使用する薄い布の場合)

刃の出し量の調整(→P.19参照)、ホルダーの 取り付け(→P.20参照)、試し切り(→P.20 参照)を行い、カットの準備をします。素材を カットした後は、付属のスパチュラを使って ゆっくりと素材をはがしてください。



① カットした模様
 ② 接着シート
 ③ スパチュラ

👸 お願い・

 接着シートを貼った布の上に、熱をもったもの を置かないでください。周囲のものに粘着剤が 移ります。

両面接着して、土台布にカットした模様を貼りつ ける

土台布の上にカットした模様を置いて、アイロ ンを押し当てます(布によっては接着が弱いこ とがあります)。

アイロンで接着した後に、手ぬいまたはミシン ぬいをすると、カットした模様がしっかりと固 定されます。



① 土台布
 ② 接着シートを貼ったカット模様



- 両面接着した布は、洗濯しないでください。
 両面接着するときは、溶着の様子を確認しなが
- 両面接着するときは、溶着の様子を確認しながら、丁寧にアイロンをかけてください。
- 厚みの異なる布を両面接着するときは、薄手の 布側からアイロンをかけてください。より接着 しやすくなります。

接着シートの使用上の注意

接着シートは室温で保管し、高温・多湿・直射
 日光を避けてください。

■ ⑤ キルトピース以外の用途で使用する厚い布



① 厚物用刃
② 厚物用ホルダー(紫色)
③ カッティングマット(青緑・紫色)
④ アイロン接着シート(白色剥離紙)

素材をマットに貼る(キルトピース以外の用途で 使用する厚い布)

P.16「素材をマットに貼る(キルトピース以外 の用途に使用する薄い布の場合)」の手順を参 照してください。

素材をマットからはがす(キルトピース以外の用 途で使用する厚い布)

P.18 「素材をマットからはがす(キルトピース 以外の用途に使用する薄い布の場合)」の手順 を参照してください。

刃の出し量を調整する

素材の種類や厚みによって、最適な刃の出し量は異なります。ホルダーをキャリッジにセットする前に、刃量調整ヘッドを回して刃の出し量を調整したのち、試し切りをしてください。試し切りについては、P.20「試し切りをする」を参照してください。

■ 適切な刃の出し量

カット素材の厚みを少し超えて刃先が出る程度が適正 です。ホルダーの目盛を目安にして、調整してください。



① ホルダーキャップ(刃量調整ヘッド)の先端
 ② カットする素材
 ③ 刃先の長さ

- ・ 刃は出しすぎないように注意してください。刃 を出しすぎると、素材がきれいにカットできま せん。また、マットの劣化を早める原因となり ます。

カット設定

下の表を参考に、カットする素材ごとの適正な 設定を選んでください。

素材の種類	刃 (ホルダー)	目盛	カット 圧力
薄い紙(ベラム)	刃 (青緑色)	3	0
厚手の紙 (カードストック)	刃 (青緑色)	4	0
薄い布 (コットン生地)	刃 (青緑色)	4	4
厚手の布 (1 ミリ厚のフェルト)	厚物用刃 (紫色)	5	5

- * カット圧力は設定画面で調節してください。 (→ P.24 参照)
- * 布をカットするときは、布用粘着サポートシート またはアイロン接着シートを使用してください。 詳しくは、P.13「マットと刃の組み合わせ」を参 照してください。



上記の表で示された数値は目安です。カットする素材の種類や厚みによって設定の適正は異なります。必ずはじめに試し切りをしてください。

■ 刃の出し量の調整

ホルダーの印が正面になるように持ち、 キャップを右側にいっぱいまで回して、刃を 最大量まで出します。



① 印
 ② 刃を最大量まで出します。

2素材の厚みを確認し、刃の出し量を調整します。P.19「適切な刃の出し量」を参照ください。

刃量調整ヘッドの数値が大きいほど、刃は長くなっ ています。



⑦ 刃を短くしたいとき、左へ回します。
 ② 刃を長くしたいとき、右へ回します。

ホルダーの取り付け/取り外し

本体にホルダーを取り付けます。

● 操作パネルの③を押して本体の電源を入れます。

詳しくは、P.11 「本体の電源を入/切する」を参照 してください

おルダー固定レバーが上がっていない場合は、 レバーを上げます。

レバーが下がっていると、ホルダーを取り付けるこ とができません。



① ホルダー固定レバー



- 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

3 つまみ部分をつかんで、ホルダーをキャリッジに差し込みます。



① つまみ

4 ホルダー固定レバーを押し下げます。

ホルダーが固定されるまで、しっかりと押し下げま す。



5 ホルダーを取り外す場合は、取り付けと逆の 手順を行います。

▲ 注意-

- 製品から取り外したホルダーは、必ず刃をホル ダーの中に収め、保護キャップを装着してくだ さい。
- 刃が出た状態でホルダーを放置しないでください、けがをするおそれがあります。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

試し切りをする

素材に合わせて刃の出し量を調整したら、作品に使 用する素材を使って、試し切りをします。

■ 本体の電源を入れる

操作パネルの(の)を押して本体の電源を入れます。

 詳しくは、P.11「本体の電源を入/切する」を 参照してください。

■ ホルダーを取り付ける

本体のキャリッジにホルダーを取り付けます。

 詳しくは、P.20「ホルダーの取り付け/取り外し」を参照してください。

■ 試し切り用の模様を選択する

紙を使って試し切り用の模様をカットします。

- 🖉 お知らせ 🗕
- 設定画面で、表示言語を選択できます。(P.24 「言語」参照)。





2 模様カテゴリー選択画面で、「試し切り」キー を押します。



🔁 模様選択画面で模様を選択します。

 紙をカットするときは「T-02」、布をカットする ときは「T-03」を選択することをお勧めします。



④「セット」キーを押します。



5 模様の配置を確認して、「OK」キーを押します。

	追加
	保存
$\overline{\mathbf{A}}$	ОК

- 模様の配置変更について詳しくは、P.36「模様 レイアウト画面」を参照してください。
- 模様を選択しなおしたいときは、(▲)を押して選 択を解除してから、もう一度模様を選んでくだ さい。

■ マットを挿入する

カットする素材をマットに貼りつけます。

マットに貼りつける素材の詳細は、P.13「マットと刃の組み合わせ」を参照してください。

2マットを水平に持ちながら、マット送りに軽

く差し込み、操作パネルの「圕」を押します。

マット送りの左右にあるガイドに合わせて軽くマッ トを差し込み、マットを送るローラーの下に挟み込 みます。



① ガイド ② ローラー



▶ マットが所定の位置まで送り込まれると、カットの準備は完了します。



ドロー/カット選択画面で「カット」を選択します。



- ▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯 します。
- お願い
 操作を続ける前に、カットする模様が素材のサイズに合わせてカット範囲にレイアウトされていることを確認してください。

2 カット速さとカット圧力を調節します。 実際に模様をカットする前に、設定画面でカット速 さとカット圧力を調節してください。操作パネルで

●を押し、●を押して設定画面の2ページ目を表示させてください。

▶ + または - を押して設定を調節し、「OK」 キーを押してください。

カット速さ	6 -+
カット圧力	

お願い。

 使用する素材によっては、カット圧力が正しく 調節されていない場合、きれいにカットできな い場合があります。適切なカット圧力について は、P.19「カット設定」を参照してください。

3 スタート/ストップボタンを押して、カットを開始します。



カットが完了すると「カットが終了しました。」 とメッセージが表示されます。「OK」キーを押 すと、ドロー/カット選択画面に戻ります。 ■ マットを排出する

● 操作パネルの 慶 を押して、マットを排出します。



2 四隅など、はがしやすい場所から素材をはがし始め、同じ強さを保ちながらゆっくりとはがし続けます。



日手でマットを固定しながら、付属のスパチュラを使用してカット模様を丁寧にはがします。



① スパチュラ



 素材のはがし方については、P.13「マットと 刃の組み合わせ」を参照してください。

■ 試し切りの結果を確認する

試し切りの結果を確認して、刃の出し量を調整しま す。 素材がきれいにカットできるまで、試し切りを繰り返 して刃の出し量を調整してください。

適切な刃の出し量

素材をはがした後に、マットの表面にカットした跡が薄く残ります。



刃の出し量の調整が必要な場合

試し切りの結果	調整方法
素材をはがした後で カットした素材の一部 分が残る。	刃の出し量が少なすぎる:刃量 調整ヘッドを半目盛右へ回して ください。 (②)
素材がカットされてい ない。	刃の出し量が少なすぎる:刃量 調整ヘッドを1目盛右へまわし てください。 (②)
マットの裏面までカッ ト線が入っている。	刃の出し量が多すぎる:刃量調 整ヘッドを1目盛左へまわして ください。(①)



本体設定

設定画面

各種機能の設定を、液晶画面上で選択・調整するこ とができます。操作パネルの 🗨 を押し、設定画 面を表示させてください。

■1ページ



- ① 設定画面ページ数
- ② 前ページ/次ページを表示
- ③ 設定が完了したときに押します。

言語

表示言語を選択します。 証を選択し、「OK」キーを押して、表示したい言

単位

寸法単位の表示をミリかインチから選択します。

カット範囲

使用する素材の大きさに合わせて、カット・ドロー範 囲を設定します。 か を押し、範囲変更キーをドラッ グして設定します。12" × 24" (305 mm × 610 mm) の マットを使うときは、マットサイズキーを押して大き めのマットサイズを選択し、カット範囲を設定しま す。



 範囲変更キー(タッチペンを使ってキーを押し てからドラッグして、範囲を設定してください。)



 ② マットサイズキー(キーを押すたびにマットサイズ設定が、12"×12" (305 mm×305 mm)と 12"×24" (305 mm×610 mm) で切り替わります。)



背景濃淡

背景スキャン機能でスキャンした背景画像の濃淡を調 整します。詳しくは、P.39「背景画像をスキャンす る」を参照してください。

■2ページ

カット速さ	3 -+ 2/*
カット圧力	
ドロー速さ	8 -+
ドロー圧力	🛛 — + Ок

カット速さ

カットの速さを調節します。

カット圧力

カット圧力を調節します。適正なカット圧力の調整に ついては、P.19「カット設定」を参考にしてください。

ドロー速さ

ドローの速さを調節します。

ドロー圧力

ドローの圧力を調節します。ドロー圧力を適切に調節 すると仕上がりがきれいになります。最初に、作品に 使用する素材を使用して試し書きをしてください。圧 力が強すぎると、ペン先が変形するおそれがありま す。

■ 3 ページ



オートシャットダウン

オートシャットダウンまでの時間を設定します。1時 間間隔で設定することができます。詳しくは、P.25 「オートシャットダウン」を参照してください。

ブザー音

キーを押したときなどの操作音の有無を設定します。

ぬいしろ幅

ぬいしろ幅を設定します。キルトピースを作るときな ど、ぬいしろをつけてカットするとき(布に模様をド ローして周囲をカットするとき)に、この設定は適用 されます。詳しくは、P.45「ドロー線の周囲をカッ トする」を参照してください。

|/|お知らせ =

- 同時に複数の模様を配置した場合、設定した値は全ての模様に適用されます。
- ぬいしろが付加された模様が含まれるデータを 呼び出したとき、データを保存したときのぬい しろ幅の設定と現在設定されているぬいしろ幅 の設定が異なる場合は、現在設定されている値 が優先されます。

模様間隔

模様レイアウト画面で、模様のレイアウトを自動調整 する場合、模様と模様の間隔や、マット上のカット範 囲の内側に残す余白を設定します。数値が大きくなる と、間隔は広くなります。自動レイアウト機能につい ては、P.39 「模様を自動でレイアウトする」を参照 してください。



貼り付けて模様をカットするときは、「3」以上 に設定してください。

■ 4 ページ



オープニング画面

起動時のオープニング画面の表示を設定します。オー プニング画面を表示する設定にすると、起動後にスラ イドショーが始まり、画面を押すとホーム画面が表示 されます。

■ 5 ページ

No.	*****	5/*
Ver.	*.**	
		ок

No.

本体のシリアルナンバーを表示します。

Ver.

本体のソフトウェアのバージョンを表示します。

オートシャットダウン

本体が一定時間使用されなかった場合、自動で電源 が切れます。自動で電源が切れるまでの時間は、設 定画面で設定することができます。



模様レイアウト画面で操作中にオートシャットダウ ンした場合、もうー度電源を入れると、操作の続き からスタートできます。電源を入れた後に画面に表 示される手順に従って「**OK」**キーを押して、模様 レイアウト画面に戻るか、「キャンセル」キーを押 してホーム画面に戻ってください。



① メッセージ画面
 ② 模様レイアウト画面
 ③ ホーム画面

模様レイアウト画面が表示される前にオートシャッ トダウンした場合、もう一度電源を入れるとホーム 画面が表示されます。

第2章 基本操作

模様をカットする

ここでは、内蔵模様を選択してから編集してカット を開始するまでの操作を説明します。

チュートリアル1 模様をカットする

このチュートリアルでは、2種類の内蔵模様をカットします。

■ 本体の電源を入れる

操作パネルの(の)を押して本体の電源を入れます。

 詳しくは、P.11「本体の電源を入/切する」を 参照してください。

■ ホルダーを取り付ける

本体のキャリッジにホルダーを取り付けます。

詳しくは、P.20「ホルダーの取り付け/取り外し」を参照してください。

■1つめの模様を選択/編集する

ホーム画面で「模様」を選択します。



2 模様カテゴリー選択画面でカットしたい模様 のカテゴリーを選択します。



- ① 押すと前の画面に戻ります。
- ② 模様カテゴリー

🖉 お知らせ 🗕

お買い上げのモデルによって、画面に表示される模様カテゴリーと内蔵模様は異なります。内蔵模様について詳しくは、同梱の模様一覧を参照してください。

3 模様選択画面で1つめの模様を選択します。



① 上にスクロールします。
 ② 下にスクロールします。

🕘 模様編集画面で模様を編集します。

編集が完了したら、「セット」キーを押します。 編集機能について詳しくは、P.34「模様を編集 する」を参照してください。.



■2つめの模様を選択/編集する

し、模様レイアウト画面で「追加」キーを押します。



- ▶ 模様カテゴリー選択画面が表示されます。
- 模様を選択しなおしたいときは、(一)を押して 選択を解除してから、もう一度模様を選んでく ださい。



① 押すと前の画面に戻ります。

32つめの模様を選択します。



4 模様を編集します。

編集が完了したら、「セット」を押します。 編集機能について詳しくは、P.34 「模様を編集

する」を参照してください。



● 模様の配置を確認します。

カットする2つの模様が模様レイアウト画面に表示 されます。配置を確認して、「OK」キーを押しま す。

- この画面上で、それぞれの模様を編集したり移動、削除することもできます。模様レイアウト 画面の詳細は、P.36「レイアウトした模様を 編集する」を参照してください。
- 自動レイアウト機能をつかって、模様の配置を 簡単に調整できます。詳しくは、P.39「模様 を自動でレイアウトする」を参照してください。



▶ ドロー/カット選択画面が表示されます。

お願い

模様の間隔が狭すぎると、選択した模様やカットする素材によってはきれいにカットできないことがあります。その場合は、模様の間隔を少し広げてください。

🖉 お知らせ =

 カット/ドロー範囲内であれば、画面上で模様 をドラッグして移動することができます。



- レイアウトした模様を削除したいときは、レイ アウト編集画面で模様を選択してから、以下の 手順で削除してください。



- 日 カット速さとカット圧力を調節します。 ▶ 削除したい模様を選択します。複数の模様を一 度に削除したい場合、複数選択機能を使用して カットの前に、カット速さとカット圧力を調節しま ください。詳しくは、P.32「複数の模様を選 す。設定変更は、設定画面から調節することができ 択する」を参照してください。 ます。操作パネルのへ、を押してください。 + または - を押して設定を変更します。 AR カット速さ 3 0 カット圧力 0 P お願い 使用する素材によっては、カット圧力が正しく ☆↓を押して選択した 調節されていない場合、きれいにカットできな ▶ 模様レイアウト画面で い場合があります。適切なカット圧力について 模様を削除します。 は、P.19「カット設定」を参照してください。 Ð 3 スタート/ストップボタンを押して、カット □:選択 を開始します。 ◀ ▶ カットが完了すると、ドロー/カット選択画面 が表示されます。 M ок ■ マットを排出する マットを排出し、付属のスパチュラを使って模様をは がしてください。詳しくは、P.22 「マットを排出す る」を参照してください。 ■ マットを挿入する マットを水平に持ちながら、マット送りに軽く差し込 み、操作パネルの 画 を押します。 • 詳しくは、P.21 「マットを挿入する」を参照し てください。 ■ カットする ドロー/カット選択画面で「カット」を選択 します。 チュートリアル2 多色の模様をカット する 6 ۲**ロ**-カット ドローキーがフラー を押してください。 ▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯 します。 カットの前に刃の出し量を適正な長さに調整し てください。詳しくは、P.19 「刃の出し量を 調整する」を参照してください。 (B) お願い -操作を続ける前に、カットする模様が素材のサ イズに合わせてカット範囲にレイアウトされて いることを確認してください。
 - このチュートリアルでは、 使様をカットします。

■1つめの模様パーツを選択/編集する

🕕 ホーム画面で「模様」を選択します。



 模様カテゴリー選択画面で模様のカテゴリー を選択します。



1 押すと前の画面に戻ります。
 2 模様カテゴリー

🖉 お知らせ –

- お買い上げのモデルによって、画面に表示され る模様カテゴリーと内蔵模様は異なります。内 蔵模様について詳しくは、同梱の模様一覧を参 照してください。
- 模様サブカテゴリー選択画面で模様のサブカ テゴリーを選択します。



④ 模様選択画面でカットする模様を選択します。



- ① 上にスクロールします。
- ② 下にスクロールします。

模様サイズ画面で模様全体の大きさを調整します。

サイズ調整が終わったら、「OK」キーを押します。

 ・ 模様サイズ画面について詳しくは、P.35「サイズ変更」を参照してください。



 様様パーツリスト画面で、最初に編集する模 様パーツを選択して、「OK」キーを押します。 模様パーツリスト画面では、個々に編集したい模様

パーツを選択できます。



📿 お知らせ-

 模様パーツは、布をカット素材として使用した ときに、布目が縦方向になるように配置されま す。表示されている模様の角度(①)と配置される模様の角度(②)は異なることがありま す。



(1) 模様パーツリスト画面での表示
 (2) カットされる模様パーツの実際の配置
 ・ 模様パーツの角度は、回転機能を使用してお好みで変更してください。詳しくは、P.35 「模様パーツを編集する」を参照してください。

- - 編集が完了したら、「セット」キーを押します。
 - 編集機能について詳しくは、P.35「模様パーツ を編集する」を参照してください。

AR-J004	1: 38mm		5
\bigcirc	⇔: 83 mm		
	個数: 1	-+	
	Ó		セット

様様レイアウト画面で模様パーツの配置を確認します。

画面にカットされる模様パーツが表示されます。配 置を確認し、「OK」キーを押します。

 画面上で模様パーツをそれぞれ編集、移動、削除、保存することができます。模様レイアウト 画面での編集機能について詳しくは、P.36「模様レイアウト画面」を参照してください。



▶ ドロー/カット選択画面が表示されます。

■ マットを挿入する

1つめの模様パーツをカットする素材をマットに貼り つけて、マット送りに差し込みます。 色の異なる複数の模様パーツで構成される模様をカッ トする場合は、模様パーツをカットするたびに素材を 貼り変えてください。

素材の準備とマットの差し込み方について詳しくは、P.21「マットを挿入する」を参照してください。

■1つめの模様パーツをカットする

ドロー/カット選択画面で「カット」を選択します。



- ▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯 します。
- 👸 お願い –
- 操作を続ける前に、カットする模様が素材のサ イズに合わせてカット範囲にレイアウトされて いることを確認してください。

- 2 スタート/ストップボタンを押して、カット
 を開始します。
 - ▶ 1つめのパーツがカットされた後、次のメッセージが表示されます。「次のパーツを選択する」キーを押して、2つめのパーツをカットします。

カットカ	「終了しました。	
	次のパーツを選択する	
	終了する	

「次のパーツを選択する」キーを押すと、マットに配置した1つめのパーツがクリアされて、 模様パーツリスト画面に戻ります。

■ マットを排出する

● 操作パネルの 歯 を押して、マットを排出し

ます。

異なる色の素材をマットに貼り替えたい場合は、1 つめの模様パーツに使用していた素材を排出しま す。





素材のはがし方について詳しくは、P.22 「マットを 排出する」を参照してください。



■2つめの模様パーツを選択/編集する

2つめの模様パーツを選択して編集し、「OK」
 キーを押します。

模様の編集について詳しくは、P.29 「1 つめの模様 パーツを選択/編集する」の手順 3 ~ 3 を参照 してください。



 このキーを押すと、模様カテゴリー選択画面に 戻り、ほかの模様を選択できます。

P.21「マットを挿入する」とP.22「カットする」の手順に従って、2つめの模様パーツに使用する素材を準備してカットします。

カットが完了したら、メッセージが表示されます。

3 すべての模様パーツがカットされたら、「終了する」キーを押します。

カットカ	「終了しました。	
	次のパーツを選択する	
	終了する	
<u> </u>		

▶ ドロー/カット選択画面に戻ります。

■ マットを排出する

カットした模様パーツをマットからはがします。素材のはがし方について詳しくは、P.22「マットを排出する」を参照してください。



模様を選択する

レイアウト編集画面では、用途に応じて4つの模様 選択機能を活用できます。

> ▶ 模様レイアウト画面で ○ を押して、模様 を選択します。



1つの模様を選択する

レイアウト編集画面で模様を押すか、
</

▶を押して、模様を1つ選択し「OK」キーを押します。

選択した模様が赤い枠で囲われます。



複数の模様を選択する





2 選択したい模様をすべて画面上で選択し、 「OK」キーを押します。





カット/編集機能

模様を編集する

選択した模様によって、模様編集機能が異なりま す。詳しくは、以下の説明または、**P.35** 「模様を 編集する-多色の模様」を参照してください。

以下の画面を表示します



+

② サイズ変更(幅)



③ コピー

模様のコピーを作ります。 コピーする模様の数を設定します。



+

+

④ 縦横比の保持を解除する

を押すと、縦横比を保持せずに模様のサイズを 変更できます。選択した模様によっては、この機能を

使用できません。キーが無効で押せないときは、その 模様は縦横比を保持した状態でのみ、サイズ変更をす ることができます。

5 **回転**

模様を回転します。



お好みの角度のキーを押します。


⑥ 反転

縦方向を軸にして、模様を反転します。



⑦ ぬいしろ

模様にぬいしろを付加します。アップリケピースやキ ルトピースを作るときなど、ドローした模様の周囲を カットする際に設定します。設定するとドロー線(青 色)とカット線(黒色)が表示されます。

 ぬいしろ機能について詳しくは、P.45「ドロー 線の周囲をカットする」を参照してください。



🖉 お知らせ –

模様によっては、ぬいしろがあらかじめ付加されています。設定を確認してください。

⑧ プレビュー

編集する模様のプレビューを表示します。

模様を編集する-多色の模様

選択した模様によって、模様編集機能が異なりま す。詳しくは、以下の説明または、**P.34**「模様を 編集する」を参照してください。

■ サイズ変更

以下の画面を表示します

	→ チュートリアル 2:P.29 「1
サイズ変更画面	つめの模様パーツを選択/編集 する」 手順 6
	する」手順5



① 模様の高さを変更します(縦横比保持)
 ② 模様の幅を変更します(縦横比保持)

🖉 お知らせ –

• サイズ変更画面に表示される模様パーツは、サ イズ変更のとき縦横比を保持します。

■ 模様パーツを編集する

以下の画面を表示します





- ① コピー
- ② 回転
- ③ 反転
- ④ ぬいしろ
 - それぞれのキーの使い方について詳しくは、
 P.34「模様を編集する」を参照してください。

模様レイアウト画面

模様の配置を変更できます。プレビュー画面には、 P.24「カット範囲」の手順で設定画面から設定さ れたカット/ドロー範囲が表示されます。模様のレ イアウトを、設定した範囲内に収まるように編集し ます。

以下の画面を表示します





- ① 模様の追加
 - 模様を追加します。

▶ このキーを押すと、模様カテゴリー選択画面が 表示されます。そこから、追加したい模様を選 択します。

② 保存

模様のレイアウトデータを保存します。詳しくは、 P.42「データを保存する」を参照してください。

③ 編集

配置された模様の移動、削除などの編集操作ができま す。詳しくは、P.36「レイアウトした模様を編集す る」を参照してください。

④ 自動レイアウト

模様の間隔を自動で調整します。詳しくは、**P.39** 「模様を自動でレイアウトする」を参照してください。

⑤ 背景スキャン

カット/ドローする素材をスキャンして、模様レイア ウト画面の背景として表示できます。 素材の特定の場所を使ってカット/ドローしたいとき

や、すでにカットに使用した素材を再利用するときな どに便利です。詳しくは、P.39「背景画像をスキャ ンする」を参照してください。

レイアウトした模様を編集する

模様レイアウト画面で、 Separate Separat



▶ レイアウト編集画面が表示されます。



① 拡大

模様を拡大表示します。矢印キーを押して、画面をス クロールできます。



② 模様選択

模様を1つずつ選択したり、複数の模様を一度に選択 して、編集することができます。詳しくは、P.32 「模様を選択する」を参照してください。

- ③ 削除
 - 選択した模様を削除します。
- ④ 移動

選択した模様を移動します。矢印キーを押して、模様 の位置を調整します。



🖉 お知らせ 🗕

 画面上で模様をドラッグして移動することもで きます。

⑤ 模様を個別に編集する

- 選択した模様を個別に編集します。
 - このキーを押すと、模様編集画面が表示されます。表示された画面で、それぞれの模様を編集します。
 - 詳しくは、P.34「模様を編集する」を参照して ください。



🖉 お知らせ-

- 複数の模様を一度に選択しているとき、模様を 個別に編集することはできません。
 ぬいしろの付加、模様の反転などの編集の結
- ぬいしろの付加、模様の反転などの編集の結果、模様のカット線がカット/ドロー範囲から 出た場合は、カット線が灰色になります。その 際は、模様がカット/ドロー範囲に収まるよう に、移動してください。

⑥ 統合(複数の模様をグループ化する)

選択できます。詳しくは、P.32「複数の模様を選択 する」を参照してください。

▶ 統合



- Δ_{O}
- ▶ 複数の模様の大きさを一度に拡大する



- ⑦ 結合(複数の模様のアウトラインを合体させる) 複数の模様のアウトラインを結合して、1つのアウト ラインを作ります。詳しくは、P.37「模様を結合す る(複数の模様のアウトラインを合体させる)」を参 照してください。
- ⑧ プレビュー 編集する模様のプレビューを表示します。

模様を結合する(複数の模様のアウトラ インを合体させる)

レイアウト編集画面で複数の模様を選択し、選択し た模様のアウトラインを統合して1つのアウトライ ンにします。



- 2 つの、サイズの異なるハート型模様を選択して、模様レイアウト画面に配置します。
- 模様レイアウト画面で、大きいハート型模様 を選択して、小さいハート型模様に重ねるよ うに、ドラッグして移動させます。



③ 模様レイアウト画面で 🔣 を押します。

5	追加
	保存
	14
	 ок

 シイアウト編集画面で を押します。 レイアウト編集画面の詳細は、P.36「レイアウトした模様を編集する」を参照してください。 	 選択した模様のアウトラインは結合されました。 ・適果 ・適果 ・適果 ・適果 ・ ・ ・
5 定 を選択して、「OK」キーを押します。 2 種類の模様選択方法があります。複数の模様選択について詳しくは、P.32 「複数の模様を選択する」を参照してください。	 結合機能を使うと、模様の一番外側のアウトラインが結合されます。内側にカット線がある模様を結合すると、内側のカット線が穴として残る場合と残らない場合があります。結合した模様が、希望どおりになっているか、プレビュー画面で確認してから、操作を完了してください。 内蔵模様を結合した場合
 を押します。 を押します。 ア ブレビューを確認して、「OK」キーを押します。 	 スキャン機能で作成した模様を結合した場合 AB → AB
(元には戻せません) (元には戻せません) (元には戻せません) (元には戻せません) (元には戻せません) (元には戻せません) (元には戻せません) (元には戻せません) (成	



38

模様を自動でレイアウトする

自動レイアウトはマットに貼りつけた素材を無駄な
く使いたいときに便利な機能です。 を模様レ
イアウト画面(→ P.36 参照)で押してください。
🏹 お願い
 模様の間隔が狭すぎると、選択した模様やカットする素材によってはきれいにカットできない場合があります。その場合、模様のレイアウトを変更して、間隔を少し広げてください。 模様をレイアウトしたときの間隔は、設定画面で設定できます(P.25「模様間隔」参照)。設定を変更した後は、変更した設定を適用させるために、再度自動レイアウトを行ってください。 布用粘着サポートシートを貼ったマットに布を貼り付けて模様をカットするときは、「模様間隔」を「3」以上に設定してください。



① 模様を自由に回転してレイアウト

たくさんの模様を限られたスペースに配置するときに 便利です。



② 模様の回転なし/180°回転でレイアウト カット/ドロー素材とする紙の縦模様や、縦方向の布

目を活かして配置したい場合に便利です。



③ 模様の回転なしでレイアウト カット/ドロー素材とする紙の模様や布目を活かして 配置したい場合に便利です。



背景画像をスキャンする

例として、左上部分が切り取られたカット素材を背 景にします。



🖉 お知らせ –

柄のついた素材から柄の部分を切り抜きたいときにも、背景スキャン機能は便利です。スキャンした背景画像を確認して、模様をレイアウトし、特定の柄を切り抜いてください。



この機能は、別売のスキャン用マットは使用できません。

模様レイアウト画面で、 一 一 を押して背景ス キャン機能をスタートします。

	追加
	保存
	ок

▶ 次のメッセージが表示されます。





文字入力機能

文字を模様として選択、編集、カット、ドローでき ます。模様カテゴリー選択画面から、文字タイプを 選択してください。



① ロゴを選択します。ロゴは模様として、編集、 カット、ドローできます。編集について詳しく は、P.34 「模様を編集する」を参照してくだ さい。

② お好みの文字の組み合わせを入力してください。

「RAINBOW」を入力する



⑤ アルファベット/アクセント文字/数字選択キー

⑥ バックスペースキー(入力表示された文字の後ろから一文字を消去します。)

🖉 お知らせ 🗕

入力した文字列がカット/ドロー範囲に収まら ない場合、文字のサイズが自動的に縮小されま す。

4 文字サイズと文字間設定を調整します。

+ または を押して、文字サイズと文字間を調整します。調整が完了したら、「セット」キーを押してください。





メモリー機能

カット/ドロー範囲の中にレイアウトされた模様と 文字は、保存して、後から呼び出すことができま す。保存先、呼び出し元として、本体内蔵メモリー または USB メモリーを選択することができます。

お願い。 USB メモリーによっては、本製品で使用でき ないことがあります。使用可能な USB メモ リーについては、ブラザーソリューションセン

- リーについては、フラザーソリューションセン ター (http://support.brother.co.jp/) で確認して ください。
- 本製品は USB ハブに対応していません。USB ポートには USB メモリーを直接差し込んでく ださい。

データを保存する

以下の画面を表示します

模様レイアウト画面

→ チュートリアル **1 : P.27 「2** つめの模様を選択/編集する」 手順 **⑤**

「保存」キーを押して、保存先選択画面を表示します。



2 お好みの保存先を押します。

USBメモリーに保存する場合、本体の USB ポートに USB メモリーを接続してください。



① 本体内蔵メモリーに保存する

キーを押すと保存開始します。保存が完了する と、以下のメッセージと、保存したデータの名 前が表示されます。

本体メモリーに保存しました。
ファイル名: M * * * * * *
ок

- ② USB メモリーに保存する
- ▶ キーを押すと保存を開始します。保存が完了す ると、以下のメッセージと、保存したデータの 名前が表示されます。

USBメディアに保存しました。
ファイル名: U ***** .fcm
ок

 保存データのファイル名は、自動でつけられ、 拡張子「.fcm」が末尾に追加されます。



- データを保存中は、USBメモリーを本体から 抜かないでください。
- ⑤「OK」キーを押して、データの保存を完了します。
 - ▶ 保存先選択画面が再び表示されます。

データを呼び出す

以下の画面を表示します







2 呼び出したいデータの保存先を選択し、お好 みの模様を選択します。

USB メモリーからデータを呼び出す場合、本体のUSBポートにUSBメモリーを接続してください。



- ① 本体内蔵メモリーから呼び出す
- ▶ 呼び出す模様を押して、模様レイアウトのプレビューを表示します。



- ② USB メモリーから呼び出す
- ▶ USB メモリーにフォルダーがある場合、フォル ダーを押すと、フォルダー内の模様を表示され ます。
- たくさんのフォルダーや模様がある場合、矢印 キーを押して画面表示を上下にスクロールして ください。



- データやフォルダーの名前に特殊な文字が使わ
- イワンダングングの名前に行外な文子が使われているなどの理由で、本製品が名前を読み込めない場合、画面上にそのデータやフォルダーを表示することができません。 このような場合は、ファイルやフォルダーの名前を変更してください。26文字のアルファベット(大文字/小文字)、0~9の数字、「-(ハイフン)」、「_(アンダーバー)」の使用を推奨します。
- ▶ 呼び出す模様を押して、模様レイアウトプレビューを表示します。



③ 画面の模様レイアウトプレビューを確認して、 「OK」キーを押します。



① 元の画面に戻ります。
 ② 表示された模様レイアウトを削除します。
 ③ 模様レイアウトデータを呼び出します。
 ④ 模様を拡大表示します。

🖉 お知らせ –

 ぬいしろが付加された模様が含まれるデータ (P.45「ドロー線の周囲をカットする」参照) を呼び出したとき、データを保存したときのぬいしろ幅の設定と現在設定されているぬいしろ 幅の設定が異なる場合は、現在設定されている 値が優先されます。必要に応じて、設定画面で 「ぬいしろ幅」設定を調節してください(P.25 「ぬいしろ幅」参照)。

ドロー機能

ペンとペンホルダーを使って、素材に模様を描くこ と(ドロー)ができます。ぬいしろ幅を設定して、 素材にぬいしろを描いてからカットすることもでき ます。ドロー機能は、キルトピースの作成に便利で す。



■ 準備

ドロー機能を使うためには、以下のアクセサリーが必要です。本製品に付属されていないアクセサリーは、 別売品を購入してください。

- ペンホルダー
- チャコペンセットまたはカラーペンセット
- ドローする素材に適したマット
- カットする素材に適した刃とホルダー
- カット/ドローする布に適したアイロン接着シート または布用粘着サポートシート

ドローする

例として、内蔵模様を素材に描きます。

■ ペンホルダーを用意する

ペンホルダーの中心のボタンを押してフタを 開けます。



2ペンのキャップを外し、先端を下にしてペン ホルダーに差し込みます。



ペンホルダーのフタをしめます。

・ 使用後は、ペンホルダーからペンを取り外し、ペンのキャップをしめてから保管してください。

■ ドローする

- ホルダーのつまみをつかんで、ペンホルダー を、ボタンを奥に向けた状態でキャリッジに 取り付けます。
 - 詳しくは、P.20「ホルダーの取り付け/取り外し」を参照してください。



2 模様を選択、編集します。

 模様の選択、編集について詳しくは、P.26「1 つめの模様を選択/編集する」を参照してくだ さい。

3 ドロー (カット)素材を貼りつけたマットを 挿入します。

- マットの挿入について詳しくは、P.21「マット を挿入する」を参照してください。



ドロー/カット選択画面で、「ドロー」を選択します。



▶ ドロー線が青く表示されます。

「トロー速さとドロー圧力を調節します。 ドローを開始する前に、ドロー速さとドロー圧力を 設定してください。設定は、設定画面からできます。操作パネルの (へ)を押します。

▶ + または - を押して、設定を変更します。



ドロー線の周囲をカットする

例として、内蔵模様にぬいしろを設定し、模様をド ローしてから、そのまわりをカットします。

- ぬいしろ幅を設定する
- ドローする模様を押します。



2ぬいしろ幅を設定します。

設定画面で、ぬいしろ幅(模様のアウトラインから カット線までの距離)を設定します。操作パネルの ●を押して、設定画面を表示します。

▶ 🚺 または ▶ を押して、設定を変更します。





- ① ぬいしろ線
- ② 模様アウトライン(縫製位置)
- ③ ぬいしろ幅
- ▶ 設定が完了したら「OK」キーを押し、模様編 集画面に戻ります。



🨉 模様の配置を確認してから、「OK」キーを押

布の端に模様を配置するときれいにカットされない ことがあります。その場合、布の端(画面のカット /ドロー範囲の端)から 10mm 以上離して模様を配 置してください。

 模様の配置を再度編集する場合は、 25 を押 してください。詳しくは、P.36 「模様レイアウ ト画面」を参照してください。

1	追加
	保存
	ОК

▶ ドロー/カット選択画面が表示されます。

■ マットを挿入する

カット(ドロー)する素材を貼ったマットを差し込み

布の裏側にぬいしろをドローするときは、布の裏面を 上にしてマットに貼りつけてください。

- 素材のマットへの貼りつけ方について詳しくは、 P.13 「マットと刃の組み合わせ」を参照してく
- マットを軽くマット送りに差し込み、操作パネ ルの 圖 を押します。
- マットの挿入について詳しくは、P.21 「マット を挿入する」を参照してください。



「ドロー」キーを押します。



ドローする線のプレビューが表示されます。



 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯 します。

2ペンの圧力を調節します。

ドロー圧力の調節について詳しくは、P.45 「ドロー する」の手順 🕒 を参照してください。

③ スタート/ストップボタンを押してドローを 開始します。



- ドローが完了したら、画面にメッセージが表示 されます。「OK」キーを押すと、ドロー/カッ ト選択画面が表示されます。
- ドロー圧力を調節するために、試し描きをする 場合は、この操作の手順 ● から ● を繰り返 してください。
- ドローした模様の周囲をカットするときは、 マットを差し込んだ状態で
 のカット操作に進んでください。

■ カットする

「カット」キーを押します。



▶ カット線のプレビューが表示されます。



▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯 します。

ペンホルダーを取り外し、刃用のホルダーを 取り付けます。





 使用後は、ペンホルダーからペンを取り外し、 ペンのキャップをしめてから保管してください。

▲ 注意

- 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意 してください。

3 スタート/ストップボタンを押して、カットを開始します。



- ▶ カットが完了すると、ドロー/カット選択画面 が表示されます。
- ④ 操作パネルの
 (
)
)
 を押して、マットを排出し
 ます。

5 マットから模様をはがします。

詳しくは、P.22「マットを排出する」を参照してください。



第4章 スキャン機能

スキャンした素材をカットする(ダイレクトカット)

プリントされた画像やオリジナルの手描きイラスト などをスキャンして、そのアウトラインをカット/ ドローします。ペーパークラフト用の画像を読み込 んで、切り抜きなどする場合にも便利です。



チュートリアル3 スキャンした素材を カットする

このチュートリアルでは、紙に描いたイラストをス キャンし、そのまわりをカットします。



■ 準備
 ① 素材を準備します。



「ダイレクトカット」モードを使用する場合は、以 下のようなスキャン素材を用意してください

- かすみ、ぼやけ、グラデーションがなく、はっ きり描かれた模様
- 5 mm 四方程度以上の大きさの模様
- 細かすぎる柄が使われていない模様



- 2 ③を押して、本体の電源を入れます。
 - 詳しくは、P.11「本体の電源を入/切する」を 参照してください。
- ③ ホルダーを本体のキャリッジに取り付けます。
 - 詳しくは、P.20「ホルダーの取り付け/取り外し」を参照してください。

■ スキャンする

ホーム画面の「スキャン」キーを押して、スキャンモードを選択します。



2 スキャンモード選択画面で、「ダイレクトカット」を選択します。



▶ メッセージが表示されます。



マットにスキャン素材を貼りつけます。



🖉 お知らせ —

- 「ダイレクトカット」モードでは、別売の12"× 24" (305 mm × 610 mm) マットとスキャン用 マットは使用できません。
- マットにスキャン素材を貼りつける前に、素材の端をマットの接着面に貼って、試してください。

マットを水平に持ちながら、マット送りに軽
 く差し込み、操作パネルの
 ・を押します。

- 詳しくは、P.21「マットを挿入する」を参照してください。
 - 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯 します。
- 5 スタート/ストップボタンを押してスキャン を開始します。

▶ スキャンが完了したら、画面にスキャン画像が 表示されます。

 スキャンした画像を確認して、「OK」キーを 押します。



■ カット線を編集する

 画像トリミング画面で、タッチペンで ラッグして画像をトリミングします。



- 〇「OK」を押して、トリミングした範囲を確定します。
 - を押すと、取り込んだイメージに枠模様 を付けて、さまざまな形にカットすることがで きます。枠模様の選択については、P.50「ダイ レクトカットの応用機能」を参照してください。



■ カットする

●「カット」キーを押します。



「カット」キーがハイライト表示され、操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。

2 スタート/ストップボタンを押してカットを 開始します。

カット後のマットの排出について詳しくは、
 P.22 「マットを排出する」を参照してください。



ダイレクトカットの応用機能

■ アウトライン距離を設定する

カット線からスキャン画像のアウトラインまでの距離 を設定します。



- ① 模様のアウトライン
- ② カット線
- ③ アウトライン距離

以下の画面を表示します





▶ 設定画面が表示されます。 → または → を押 して、設定を変更します。





■ アウトライン/枠をつける

スキャンした画像のカット線をお好みの形状に設定す ることができます。

以下の画面を表示します



▶ 設定画面が表示されます。



- ① アウトラインをつける
 - キーを押すと、スキャンしたイメージのアウトライン にそってカット線を作成します。





② 枠形状スクロール

▲ または を押して枠のリスト表示を上下にスクロールします。

- ③ 枠を付ける
 - お好みの枠キーを押すと、指定された枠形状のカット 線を作成します。
 - 複数の模様がある場合、枠はそれぞれの模様に 設定されます。





④ プレビュー
 選択した枠形状のカット線をスキャン画像と一緒に表示します。

カットデータを作成する

プリントされた模様や画像、オリジナルの手描きイ ラストなどをスキャンして、本製品でカット/ド ローするためのカット線へ変換したのち、データと して保存することができます。



チュートリアル 4 カットデータを作成 する

このチュートリアルでは、カットデータとして紙に 描かれたイラストを保存します。



- スキャンする
- ホーム画面で「スキャン」を押して、スキャンモードを選択します。



2 スキャンモード選択画面で「カットデータ作成」を選択します。



メッセージが表示されます。



- 3 マットに素材を貼りつけて、マットをマット 送りに差し込みます。
 - マットを軽くマット送りに差し込み、操作パネルの

 ・ 一・

 ・
 - マットの挿入について詳しくは、P.21「マット を挿入する」を参照してください。

🖉 お知らせ ――

 「カットデータ作成」モードのとき、別売の 12" × 24" (305 mm × 610 mm) マットは使用できま せん。

④ スタート/ストップボタンを押してスキャン を開始します。

▶ スキャンが完了すると、画面にスキャン画像が 表示されます。

■ カットデータを編集する

🕕 画像編集画面で認識方法を選択します。

イメージ形状が認識され、3種類の基準に従って カット線が作成されます。この例では、 のでは、 を押 して、面認識によるカット線を作成します。



認識方法によるカット線の違い

	① アウトライン 認識	② 面認識	③ 線認識
元イメージ		Ø	
カット線	\square	Ø	Ø
カット後の完成品		P	

① アウトライン認識

イメージのアウトラインをカット線へ変換します。 アップリケ用に描いた手描きイラストなどをデータ化 して保存する場合に便利です。

② 面認識

イメージの中で色付けされている部分を面と認識し て、その周りをカット線に変換します。イメージの縁 取り線や文字イラストなど、描いた線の太さを生かし て切り抜くことができます。切り抜いた模様ばかりで なく、レースのように切り抜かれた素材自体も作品と して楽しむことができます。

③ 線認識

線の中心を認識して、カット線へ変換します。複数の パーツから構成される模様を認識して、それぞれの パーツごとにカット線を作成したい場合などに便利で す。

🖉 お知らせ ――

- 1.5 mm より太い線は、線として認識されません。
- タッチペンでをドラッグしてカット線をトリミングして、「保存」キーを押します。



▶ 保存先選択画面が表示されます。

■ データを保存する

① データの保存先を選択します。

データの保存先として、USBメモリーか本体の内蔵 メモリーのいずれかを選択します。お好みの保存先 を押してください。この例では、本体の内蔵メモ リーを選択します。USBメモリーに保存する場合、 本体の USB ポートに USBメモリーを接続してくだ さい。



▶ キーを押すと保存を開始します。保存が完了すると、以下のメッセージが表示されます。

本体メモリ	ーに保存しました。
ファイル名	: M*****
258	ок

〇「OK」キーを押して、データの保存を完了します。

▶ 保存先選択画面が再び表示されます。

3 操作パネルの))を押してマットを排出し、 マットから素材をはがします。

■ カットデータを呼び出す

保存したカットデータを呼び出して、カットします。

- マットにカットする素材を貼りつけて、マットを本体に挿入します。
 - 素材のマットへの貼りつけ方について詳しくは、 P.13「マットと刃の組み合わせ」を参照してく ださい。
 - マットの挿入について詳しくは、P.21「マット を挿入する」を参照してください。

日本の目的では、「日本の目前」を示す。

データの呼び出し方について詳しくは、P.42
 「データを呼び出す」を参照してください。



▶ 模様レイアウトのプレビューが表示されます。



3 カット線に変換される、最小の画像のサイズを設定します。設定したサイズより小さい画像は、カット線に変換されません。



① 拡大

- ③ サイズ調整キー
- ⑤ 縦横比の固定/固定解除





▶「OK」キー(④)を押して設定を適用します。

(②)を押すと、設定を適用せずに元の画 面に戻ります。

- 画像検出レベルを設定する 画像を2階調(白黒)の画像に変換して、その画像を もとにカット線を作成します。このとき、画像検出レベル(濃度)を設定できます。 この例では、3種類の異なる濃度(薄い、普通、濃い)の画像をスキャンします。
- 機能選択画面で # を押して、画像検出レベルを設定する画面を表示します。



② ▲または ▶を押して、画像を2階調に変換するためのしきい値を設定します。





 ● カット線を作成する
 ② カット線を作成しない
 ▶ 「OK」キーを押して設定を適用します。
 ■ を押すと、設定を適用せずに元の画面に 戻ります。

画像をスキャンする(USB に保存)

紙や布にプリントされた模様、画像、型紙、手描き イラストなどをスキャンして、画像データとして USBメモリーへ保存することができます。 カットする前のバックアップのために元イメージを データ化して保存しておく場合などに便利です。

スキャンする際の注意

■ スキャン仕様

- スキャン形式:カラー
- 保存形式 jpg___
- 最大スキャン範囲:296 mm × 298 mm

■ スキャンできる素材

	弱粘着カッティングマット/ カッティングマット使用時
厚み	最大 1.5 mm
タイプ	紙/布

🖉 お知らせ 🗕

- 「USB に保存」モードのとき、別売の 12" × 24" (305 mm × 610 mm) マットは使用できません。
- 別売のスキャン用マットを使用すると、透明 シートとマットの間に素材を挟んで固定するため、素材にマットを粘着させずにスキャンすることができます。

チュートリアル 5 USB メモリーにス キャンデータを保存する

このチュートリアルでは、紙に描かれたイラストを JPEG データとして USB メモリーに保存します。

■ スキャン設定

USBメモリーを本体のUSBポートに接続します。





3 スキャンモード選択画面で「USB に保存」を 選択します。



- メッセージが表示されます。
- ④ 11 を押してスキャン設定画面を表示します。

スキャンサイズと解像度を設定します。



「スキャンサイズ」の前を押して、スキャンサイズ設定画面を表示します。





第5章 付録

消耗品

交換の目安

本製品を安全にご使用いただくため、以下の交換時 期を目安にして、消耗品を新しいものに交換してく ださい。ご購入は、お買い上げの販売店またはお客 様相談室までお問い合わせください。別売品につい て詳しくは、P.68 「別売品」を参照してください。

マット

- 粘着力が落ちたとき
- カット跡が多くなったとき

刃

- 切り口が粗くなり、作品の仕上がりの質が劣化したとき
- 切れ味が悪くなったとき

布用粘着サポートシート

- 粘着力が落ちたとき
- カット中に貼りつけた布がねじれるようになったとき

スキャン用マット

マットやカバーシートが汚れて、スキャン画像の質が劣化したとき

刃を交換する

■ 取り外す







① ゴム部分

3 ホルダーを引き上げて、刃をゴム部分に残します。



■ 取り付ける

新しい刃の軸の部分を持って、ホルダーの差込口へ差し込みます。

刃の軸はホルダーの中に磁石で固定されます。軸を ゆっくりと差し込み、軸が磁石にカチッと収まった ら、ゆっくりと手を放してください。



アルダーのキャップを右に回してしめます。 刃の出し量が最大になるまでキャップを完全にしめ 込み、そのあと刃が見えなくなるまでキャップをゆ るめます。



1 キャップをしめて刃の出し量を最大にします。
 ② 刃が見えなくなるまでキャップをゆるめます。



 刃の交換後は、試し切りをして刃の出し量を調 整してください。詳細は P.20 「試し切りをす る」を参照してください。

▲ 注意

- 製品から取り外したホルダーは、必ず刃をホル ダーの中に収め、保護キャップを装着してくだ さい。
- 刃が出た状態でホルダーを放置しないでください、けがをするおそれがあります。
 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャッ
- 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意 してください。

お手入れ

掃除する

■ マットの掃除

マットに付着した模様の切れ端や切りクズ、ホコリ などは、マットの粘着力低下や本製品の動作の妨げ となる場合があります。定期的にマットを掃除して ください。付属のスパチュラを使用して、マットに 付着した切れ端などを軽くこすり落としてください。



マットに付着した繊維クズは、市販のピンセットな どを使用して取り除いてください。



マットの表面やまわりの部分にあるマット読み取り マーク(点)が汚れている場合は、乾いた布でふき 取ってください。



👸 お願い

- マットの掃除の際、アルコールや水を使用しないでください。
- マットを使用しないときは、クリーニング後に 保護シートを貼って保管してください。保管の 際は、湿ったマットに保護シートを貼らないで ください。マットの粘着力が落ちる場合があり ます。
- 折り曲げないで保管してください。
- マットは、高温多湿や直射日光を避けて、室温 で保管してください。
- マットの粘着力がなくなってきたら、新しい マットに交換してください。別売のマットにつ いては P.68 「別売品」を参照してください。

■ ホルダーを掃除する

ホルダー内部に素材の切れ端や切りくずがたまる と、正常に動作しなくなります。定期的にホルダー を掃除してください。

ホルダーのキャップを左に回して外します。





特に、刃のまわりの切れ端や切りくずをよく掃除し てください。刃とホルダーの間にゴミがたまると、 刃が動かなくなったり、カットの仕上がりが悪くな ることがあります。



■ 本体内部を掃除する

スキャンした画像に縦線が入ったり空白領域ができ る場合は、本体内部にクズやホコリがたまっている ことがあります。また、ホコリがローラーに巻き込 まれると、マットの挿入や排出が正しく動作しなく なります。やわらかいブラシなどを使用して掃除し てください。

本体の電源を切り、コンセントを抜き、背面の電源ジャックから AC アダプターのプラグを抜きます。



2 フロントトレイカバーを開けます。



3 キャリッジからホルダーを取り外します。



市販のブラシを使用して、マット送りとキャ リッジの周囲を掃除します。



スキャナーガラスを掃除する

スキャンした画像に縦線が入ったり、空白領域がで きる場合やスキャンがきれいにできない場合は、ス キャナー部分のスキャン装置が汚れている場合があ ります。本体の底面にあるスキャナーガラスを掃除 してください。

本体の電源を切り、コンセントを抜き、背面の電源ジャックから AC アダプターのプラグを抜きます。



2 操作パネルを収納します。 パネルがまっすぐになるまで起こしてから、後ろに 倒して収納します。



3 本体の底部にあるつまみを押しながら、カ バーを引き上げます。



やわらかく繊維がでない布を水で濡らして固く絞り、底面の内部奥にあるスキャナーガラスを拭きます。



5 取り付け口のミゾにカバーの突起部分をはめ 込んだあと、カバーを本体へ取り付けます。



① ミゾ

6 掃除の後は、テストスキャンをしてください。

画面を調整する

画面上のキーを押しても正しく反応しない(操作に 反応しない、あるいは操作と異なる反応をする)と きは、以下の手順に従って画面を調整してください。

指を液晶画面上に置いた状態で、本体の電源を切り、再度電源を入れます。



▶ タッチパネル調整画面が表示されます。

日本の「中国」の中央を1から5の順番に押します。



 タッチパネルの調整が終わると、「SUCCESS」 のメッセージが表示されます。





画面を調整しても正しく反応しない場合や、画面を調整できない場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

困ったとき

本製品が思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目およびブラザーソリューションセン ター(http://support.brother.co.jp/)の Q&A を確認してください。それでも改善されない場合は、お買い 上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

電源

症状	原因(結果)	対処	参照ページ
本製品の電源が入らない。	電源プラグが正しく本体に接続され ていない。	電源プラグが本体に接続されていること、 および電源コードが AC アダプターとコ ンセントに接続されていることを確認し ます。	→ P.11

マット

症状	原因(結果)	対処	参照ページ	
マットを挿入できない。	マットをセットしたとき、送りロー ラーの下にマットが当たっていな い。	マットが左右の送りローラーの下に当た るようにセットします。	\rightarrow P.21	
	マットを挿入するとき、送りボタン を使用していない。	マットをマット送りに軽く当てて、送り ボタンを押します。	\rightarrow P.21	
	マット挿入部にある、マット読み取 りマーク(点)が汚れている。	マット読み取りマーク(点)および、そ のまわりを掃除します。	\rightarrow P.59	
マットが認識されない。	マット挿入部にある、マット読み取 りマーク(点)が、マットに貼りつ けた素材で隠れている。	素材がマットの粘着面に収まるように貼 り付けます。	\rightarrow P.13	
	素材を貼った面を下に向けてマット を差し込んでいる。	素材を貼った面を上に向けてマットを差 し込みます。	\rightarrow P.21	
マットがまっすぐに送ら	マット送りに対して、マットを斜め に差し込んでいる。	送りボタンを押して、マットを取り出し たあと、まっすぐ差し込みなおします。	\rightarrow P.21 \rightarrow P.22	
れない。	マットの端が変形して(曲がって) いる。	新しいマットに交換します。	\rightarrow P.57	
カット/スキャン素材が	素材がマットの粘着面からはみ出し ている。	素材がマットの粘着面に収まるように貼 り付けます。	\rightarrow P.13	
	マットの粘着力が弱くなっている。	新しいマットに交換します。	\rightarrow P.57	
マットを排出できない。	本体の送り機構にカット/ドロー/ スキャン素材が詰まっている。	マット挿入中、送りボタンを押して、 マットを取り出します。マットを取り出 せない場合は、電源を切り、ゆっくりと マットを引き抜きます。	→ P.22	
マットを挿入するとき、 貼りつけた素材がはがれ	素材の重みでマットが水平になって いない。	手でマットを水平に保ちながら差し込み ます。	→ P.21	
3.	マットの粘着力が弱くなっている。	新しいマットに交換します。	\rightarrow P.57	

紙/布詰まり

症状	原因(結果)	対処	参照ページ
マットを送ることができ	本体のスロット周辺に障害物があ る。	本体のスロット周辺にマットを排出でき るスペースを確保します。	\rightarrow P.10
ない。	本体を置いている場所が水平でな い。	本体を水平で段差のない場所に置きます。	_
マット挿入中に、マット	マットの粘着力が弱くなって、素材 が固定されない。	送りボタンを押してマットを取り出した あと、新しいマットに交換します。	\rightarrow P.22 \rightarrow P.57
あるいは素材が送りロー ラーに引っかかった。	素材がマットの粘着面からはみ出し ている。	送りボタンを押してマットを取り出した あと、素材をマットの粘着面に収まるよ うに貼ります。	\rightarrow P.13 \rightarrow P.22

症状	原因(結果)	対処	参照ページ
カット/ドロー中に、 マットあるいは素材が送 リローラーに引っかかっ た。 カット/ドロー中に、 マットが斜めに送られて、 そのまま送られなくなっ た。	 マットの粘着力が弱くなって、素 材が固定されない。 素材がマットの粘着面からはみ出 している。 	スタート/ストップボタンを押して、操 作をストップします。画面の表示にした がって、送りボタンを押してマットを排 出します。マットが排出されない場合は、 本体の電源を切り、ホルダーを取り外し てから、マットを手で取り出します。 マットを排出したあと、新しいマットに 交換するか、素材をマットの粘着面に収	\rightarrow P.13 \rightarrow P.22 \rightarrow P.57
カット/ドロー/スキャ ン中に、素材がマットか らはがれた。		まるように貼り直します。	

カット

症状	原因(結果)	対処	参照ページ
	ホルダーにクズやほこりがたまって いる。	ホルダーを掃除します。	\rightarrow P.59
刃の先にカット素材が ひっかかる。	刃が消耗している。	新しい刃に交換します。	\rightarrow P.57
0 2 1 1 0	本製品に対応していないカット素材 を使用している。	本製品に対応しているカット素材に交換 します。	\rightarrow P.12
操作の途中で本体が停止 した。	安全のため、カット/ドロー中にパ ネルを押すと本製品は動作を停止し ます。	画面に表示されるメッセージに従って操作します。「OK」キーを押してキャリッジを元の位置に戻します。マットを差し込んで、操作をやり直します。	_
	素材に適している刃を使用していない。	素材に適した刃に交換します。	\rightarrow P.13
	ホルダーの刃の出し量が少なすぎ る。	ホルダーをキャリッジから取り外して、 刃の出し量を調整します。	\rightarrow P.19
	マットの粘着力が弱くなって、素材 が固定されていない。	新しいマットに交換します。	\rightarrow P.57
	刃が消耗している。	新しい刃に交換します。	\rightarrow P.57
	本製品に対応していない素材を使用 している。	本製品に対応しているカット素材に交換 します。	\rightarrow P.12
	「カット圧力」が適当でない。	設定画面で「カット圧力」を調節します。	\rightarrow P.19 \rightarrow P.24
カット素材がすべて切り 取られておらず、切り残	ホルダーにクズやほこりがたまって いる。	ホルダーを掃除します。	\rightarrow P.59
しかある。	レイアウトした模様の間隔が狭すぎ る。	模様を少し離してレイアウトし直します。 「模様間隔」を「3」以上に設定して、模 様をレイアウトし直すか、自動レイアウ トを行います。	\rightarrow P.25 \rightarrow P.39
	布をカットするときに、布用粘着サ ポートシートもアイロン接着シート も使用していない。	カットの前に、布用粘着サポートシート をマットに貼るか、アイロン接着シート を布に貼ります。	\rightarrow P.14 \rightarrow P.16
	マットに貼った布用粘着サポート シートに、布がしっかりと貼りつけ られていない。	付属のスパチュラの持ち手で布を押しつ けて、布をマットにしっかりと固定しま す。	\rightarrow P.15
	 アイロン接着シートがしっかりと布 に貼りつけられていない。	布の裏側からアイロン接着シートにアイ ロンをかけてしっかりと布に貼りつけま す。	→ P.17
マットの裏面まで切りキ	刃の出し量が多すぎる。	ホルダーをキャリッジから取り外して、 刃の出し量を調整します。	→ P.19
ズがついている。	「カット圧力」が適当でない。	設定画面で「カット圧力」を調節します。	$\rightarrow P.19$ $\rightarrow P.24$

ドロー

症状	原因(結果)	対処	参照ページ
ドロー線が思ったよりも 太かった (細かった)。	「ドロー速さ」あるいは「ドロー圧 力」が適当でない。	設定画面で「ドロー速さ」と「ドロー圧 力」を調節します。太い線をドローする ときは、ドロー圧力を強くします。細い 線をドローするときは、ドロー圧力を弱 くします。太い線をドローするときは、 ドロー速度を遅くします。細い線をド ローするときは、ドロー速度を早くしま す。設定を調節した後は、試し描きをし てください。	→ P.24

スキャン

症状	原因(結果)	対処	参照ページ
		「USB に保存」モードでは、紙のサイズを 「スキャンサイズ」で設定します。	\rightarrow P.55
意図しない画像がスキャ ンされた。	スキャン範囲が誤って設定されてい る。	「ダイレクトカット」モード、または 「カットデータ作成」モードでは、スキャ ンの後に画像を編集画面でトリミングし ます。	\rightarrow P.49 \rightarrow P.52
きれいにスキャンできな	スキャナーガラスが汚れている。	本体の底面にあるスキャナーガラスを掃 除します。	\rightarrow P.60
い (スイヤノ画家に稼が 入っている)。	スキャン素材が汚れているか、キズ がついている。	「カットデータ作成」モードでは、画像編 集画面で細い線やゴミを消去します。	\rightarrow P.53
マットに印字されている 線がスキャンされた。	スキャン素材がすけて、マットに印 字された線がスキャンされた。	「カットデータ作成」モードでは、画像編 集画面で線を消去します。	\rightarrow P.53
スキャン画像が赤い。	別売のスキャン用マットを使用する とき、青い固定テープをはがさずに スキャンした。	スキャンの前に、別売のスキャン用マッ トの青い固定テープをはがします。	_

操作中に表示されるエラーメッセージの一部と、対処方法の一覧です。 メッセージの指示に従うか、この表に記載される対処方法を確認して、必要な操作を行ってください。それ でも問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

エラーメッセージ	原因/対処
不具合が生じました。電源をいったん OFF してから再度 ON してください。	本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れてください。
内蔵メモリーが壊れています。 メモリーを初期化します。	内蔵メモリーのデータが壊れています。本製品の電源を切って、再起動してください。
模様数が多すぎるため、この操作はできません。	 このメッセージが表示される場合は、以下のいずれかが原因です。 「ダイレクトカット」モードで、301 模様以上の模様がカット模様として認識された。 「カットデータ作成」モードで、301 模様以上の模様をカット模様として保存しようとした。 使用する模様の数を減らしてください。 小さな模様をたくさんスキャンした後、大量のカット線を作成しようとしている。 画像検出レベルを薄い色を検出する設定にして、大量の薄い色の模様からカット線を作成しようとしている。 (→P.54) スキャン素材の模様の数を減らしてから、もう一度スキャンしてください。
模様が存在しないため、この操作はできません。	スキャニングによって、読み取られたイメージまたは線があ りません。 スキャンしようとするイメージを再確認して、スキャン範囲 や画像検出レベル、消去サイズを調整してください。 またはスキャン素材に描かれたイメージを読み取りやすいも のに変更してください。
文字列が長すぎて、マットに配置できません。	入力文字の長さが 12 インチマットの幅(最大有効幅 297 mm)に収まるまで、文字数を少なくしてください。
刃の位置の初期化に失敗しました。 電源を OFF してください。 ヘッドの初期化に失敗しました。 電源を OFF してください。	本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れてください。
これ以上模様を組み合わせることができません。	301 模様以上の模様は組み合わせられません。模様の数を減らしてください。
有効範囲内に模様がありません。	カット/ドロー範囲内にカットまたはドローする模様があり ません。 範囲外の模様をカットまたはドローする場合は、「カット範 囲」の設定値を大きくするか、「カット範囲」の設定範囲の中 に模様を移動させてください (P.24)。
容量不足のため、データを保存できません。	本体内蔵メモリーか、USB メモリー内のデータを消去して ください。
マットに余白がありません。 模様の大きさ、マットの余白、または設定画面のカット範 囲、模様間隔を確認してください。	模様を配置するために次のいずれかを行ってください。 - 模様レイアウト画面上にすでに配置してある模様を消す。 - 配置した模様のサイズを小さくする。 - 「カット範囲」の設定値を大きくする (P.24)。 - 「模様間隔」設定で模様レイアウトの間隔設定を狭くする。
マットに余白がありません。 最大個数:10(例。模様のサイズにより異なります)	模様が多いため配置できません。表示された個数まで模様の 数を減らしてください。
レジューム記憶を呼び出しますが、よろしいですか?	直前の操作で使用していたデータを引き続き使用したい場合 は、「OK」キーを押してください(P.25)。

エラーメッセージ	原因/対処	
模様を1つに統合できませんでした。 組み合わせが無効です。	模様を統合中に表示されるメッセージです。 ぬいしろが付加された模様と、ぬいしろが付加されていない 模様を統合しようとしています。ぬいしろの付加された模様 のみ、またはぬいしろが付加されていない模様のみを選択し て操作してください。	
模様を結合できませんでした。 許可されていない模様が含まれているか、または重なりがあ りません。	 模様を結合するときに表示されるメッセージです。 模様が重なっていません。選択した模様が重なるように配置を変更してください。作品によっては、模様を一体化させて編集する方法も有効です。 ぬいしろのある模様が選択されています。ぬいしろ設定を解除してから、結合してください。 閉じていない線が含まれていると、模様は結合できません。模様を一体化させたい場合は、統合機能(グループ化)を使用してください。 	
本体のぬいしろ幅設定が大きいため、呼び出すデータの模様 どうしが重なる可能性があります。	模様に設定されたぬいしろ幅が、前回操作時より大きくなった場合、隣接する模様の端が重なる場合があります。ぬいしろ幅の設定値を調整してください。または模様の配置間隔を 広げてください。	
読み取りエラーが発生しました。 電源を OFF してください。	本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れ、操作を やり直してください。	
データを削除できませんでした。	本製品で使用できない USB メモリーを使用している可能性 があります。USB メモリーを取り外して、再度操作しても	
データを読み込めませんでした。	メッセージが表示される場合は、USB メモリーを交換して ください。本製品に対応している USB メモリーについては、	
データを保存できませんでした。	プラザーソリューションセンター (http://support.brother.co.jp/)で確認してください。	
マットのマークが識別できません。 マットを排出します。	認識できないマットが挿入されています。本製品専用のマッ トを使用していない場合は、専用のマットを使用してくださ い。 マットの端にあるマット読み取りマーク(点)およびその周 りを掃除してください。それでも認識されない場合は、新し いマットに交換してください。	
ぬいしろをつけられない模様が含まれています。	ぬいしろ設定は複雑な形状の模様には使用できません。シン プルな形の模様を選択してください。 ぬいしろ幅を2mm以上にすると、ぬいしろを付加できるこ とがあります。	
アウトラインに幅をつけてカットできない模様が含まれてい ます。	アウトラインに幅をつける設定は、複雑な形状の模様には使 用できません。シンプルな形の模様を選択してください。	
USB メディアには、保存できない模様が含まれています。 本体メモリーのほうに保存してください。	模様によっては USB メモリーに保存できない場合があります。	
有効範囲内に収まっていない模様があります。 その模様はカットやドローができませんが、続行しますか?	模様がカット/ドロー範囲の外にあります。 カット/ドロー範囲外の模様をカットまたはドローしない場 合は、そのまま続けてください。 範囲外の模様をカットまたはドローする場合は、「カット範 囲」の設定値を大きくするか、「カット範囲」の設定範囲の 中に模様を移動させてください (P.24)。	
データが複雑なため、変換できませんでした。	模様を統合するとき、または結合するとき: レイアウトした模様の数を減らすか、模様をシンプルな形に 変更してください。	
このマットは使用できません。	│操作中の機能に使えないマットです。マットを交換してくだ さい。	

ソフトウェアのアップグレードに ついて

USB メモリーを使って本製品のソフトウェアを アップグレードすることができます。アップグレー ド情報については、ブラザーソリューションセン ター(http://support.brother.co.jp/)を参照してくだ さい。アップグレードファイルが掲載されている場 合は、ファイルをダウンロードして、以下の手順で 本製品をアップグレードしてください。

操作パネルの()を押しながら、)を押して本体の電源を入れます。

アップグレードファイルを保存した USB メモ リーを本体の USB ボートに差し込みます。 USB メモリーには、アップグレードファイル以外の データを入れないでください。本製品が誤動作を起 こし、停止するおそれがあります。





 本製品は USB ハブに対応していません。USB ポートには USB メモリーを直接差し込んでく ださい。

 「アップデート」キーを押してアップグレード を開始します。

Version : ***
アップグレードファイルが保存された USBメディアを接続してから アップデートキーを押して下さい。
アップデート
 アップグレードが完了すると、終了メッセージ が表示されます。
USBメモリーをUSBポートから取り外します。
本体の電源をいったん切ってから、再度電源



別売品

	To 7 6 1 11 1	
別売品として、以	、トのアクセサリー・	を用意していより。
1.	2.	3.
	\square	
4.	5.	6.
7.	8.	9.
\square		
10.	11.	12.
A		
13.	14.	15.
	J.	J.
16.		

1	6
I	υ.

No.	名称	モデル名
1	弱粘着カッティングマット 12" × 12" (305 mm × 305 mm) (青緑色)	CAMATP12
2	弱粘着カッティングマット 12" × 24" (305 mm × 610 mm) (青緑色)	CAMATP24
3	替え刃ホルダー(青緑色) (刃は含まれません)	CAHLP1
4	替え刃	CABLDP1
5	スキャン用マット 12" × 12" (305 mm × 305 mm)	CAMATS12
6	カッティングマット 12" × 12" (305 mm × 305 mm) (青緑・紫色)	CAMATF12
7	カッティングマット 12" × 24" (305 mm × 610 mm) (青緑・紫色)	CAMATF24
8	厚物用替え刃ホルダー(紫色) (刃は含まれません)	CAHLF1
9	厚物用替え刃	CABLDF1
10	ペンホルダー	CAPENHL1
11	カラーペンセット	CAPEN1
12	チャコペンセット	CAPEN2
13	カッティング模様 USB メモリー	*
14	アイロン接着シート(白色剥離紙)	CASTBL1
15	布用粘着サポートシート	CASTBL2

No.	名称	モデル名
16	中粘着カッティングマット 12" x 12" (305 mm × 305 mm) (青緑・ピンク色)	CAMATM12

* 詳しくは、お買い上げの販売店またはお客様相談 室にお問い合わせください。

仕様表

項目	仕様
本体寸法	幅 497mm × 奥行き 175mm × 高さ 157mm
製品質量	3.7 kg
電源	AC100V 50/60Hz(AC アダプター)
最大消費 電力	25W(カット時)

索引

U	
USB に保存(スキャン機能)	55
USB ポート	10, 42, 67
Б	, ,
アイロン接着シート	13 16
アウトライン距離	
アウトライン/枠(ダイレクトカット)	
え	
エラーメッセージ	
a	
お手入れ	
オートシャットタワン	
オーノニンク画面	12, 25
か	
→ 各部の名称とはたらき	
画像トリミング画面	
画像編集	53
画像編集画面	51, 53
カット	26
<i>77 7</i> 1	
カット圧力	19, 24, 28
カット圧力	
カット圧力 カットデータ作成(スキャン機能) カットデータ	19, 24, 28
カット圧力 カットデータ作成(スキャン機能) カット速さ カット範囲	
カット圧力 カットデータ作成(スキャン機能) カット速さ カット範囲 カット(多色模様)	19, 24, 28
カット圧力 カットデータ作成(スキャン機能) カット速さ カット範囲 カット(多色模様) 画面調整	19, 24, 28 51 24, 28 24, 36 24, 36
カット圧力 カットデータ作成(スキャン機能) カット速さ カット範囲 カット(多色模様) 画面調整 き	19, 24, 28 51 24, 28 24, 36
カット圧力 カットデータ作成(スキャン機能) カット速さ カット聴西 カット 箇面調整 き キャリッジ	
カット圧力 カットデータ作成(スキャン機能) カットデータ作成(スキャン機能) カット速さ カット範囲 カット(多色模様) 画面調整 き キャリッジ け	
カット圧力 カットデータ作成(スキャン機能) カットデータ作成(スキャン機能) カット範囲 カット(多色模様) 画面調整 き キャリッジ け 結合(模様編集)	

こ

交換の目安 困ったとき	 57 62
L	

使用素材の条件	(カット/ドロー)12	2
使用素材の条件	(スキャン)	5

す

「スキャン」モード	
スロット	

せ

設定画面	 24
7	

-	
操作パネル	
ソフトウェアアップグレード	

た

ダイレクトカット(スキャン機能)	
試し切り	
単位	
て	
電源入/切	

電源ジャック 電源ボタン データ呼び出し	10, 60 10, 12, 26 42
と 統合(模様編集) ドロー圧力 ドロー機能 ドロー速さ	
に 認識方法(カットデータ作成)	
<i>k</i> a	
ぬいしろ幅	25, 35, 45
	12
ガ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
背景濃淡	
刃の交換	
メの出し量	
び 標準目盛設定	19
ふ	
複数選択(模様編集) ブザー音	
^	
▲ 別売品	68
へ 別売品 編集(模様)	
▲ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様)	
へ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ	
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) 【 保存(カットデータ作成(スキャン機能)).	
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ)	
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー	
へ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ (保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダー固定レバー ホルダーの取り付け 	
 入 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダーの取り付け ホーム画面 	
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダーの取り付け ホーム画面	
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能))、 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダーの取り付け ホーム画面 ま	
 ▲ 別売品	
へ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダーの取り付け ホーム画面 ま マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット/排出 マット(カッティングマット) マット(3転着カッティングマット)	
へ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) <i>G G G (スキャン画像) (オャングーの取り付け ホーム画面 オーム画面 オーム画面 オーム画面 オーム画面 (スキャン画像) (スキャン画像) (スキャン画像) (スキャン画像) (スキャン画像) (スキャン画像) (スキャンの取り付け) (スーペークの取り付け (オークの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペークの取り付け) (スーペーの取り付け) (スーペーの取り付け)</i> </th <td></td>	
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダーの取り付け ホーム画面 ま マット挿入 マット挿入 マット排出 マット(カッティングマット) マット(弱粘着カッティングマット) ち 文字入力機能	
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダーの取り付け ホーム画面 ま マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット 構入 マット 構造 構造 間隔	
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダー回定レバー ホルダーの取り付け ホーム画面 ま マット挿入 マット挿入 マット排出 マット(カッティングマット) マット(弱粘着カッティングマット) ・	
へ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) (
へ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダーの取り付け ホーム画面 ま マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット挿出 マット(カッティングマット) マット(38粘着カッティングマット) マット(38粘着カッティングマット) も 文字入力機能 模様サイズ画面 模様サイズ画面 模様間隔 模様サイズ画面 模様ポーツ編集画面	$\begin{array}{c} & & & 68 \\ & & & 34 \\ & & & 36 \\ & & & & 36 \\ & & & & & 52 \\ & & & & & 55 \\ & & & & & 42 \\ & & & & & & 10, 20 \\ & & & & & & 20 \\ & & & & & & 20 \\ & & & & & & & 20 \\ & & & & & & & 20 \\ & & & & & & & & 20 \\ & & & & & & & & & 20 \\ & & & & & & & & & & & & 20 \\ & & & & & & & & & & & & & & & & & & $
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) 尿存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レバー ホルダーの取り付け ホーム画面 ま マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット排出 マット(弱粘着カッティングマット) も 文字入力機能 模様カテゴリー選択画面 模様間隔 模様サイズ画面 模様パーツ編集画面 模様パーツリスト画面	
ヘ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) ほ 保存(カットデータ作成(スキャン機能)) 保存(スキャン画像) 保存(レイアウトしたデータ) ホルダー固定レパー ホルダーの取り付け ホーム画面 ま マット挿入 マット挿入 マット排出 マットが挑出 マット(功ッティングマット) マット(38粘着カッティングマット) も 文字入力機能 模様カテゴリー選択画面 模様ポイズ画面 模様ポイズ画面 模様パーツ編集画面	
へ 別売品 編集(模様) 編集(レイアウトした模様) (存(スキャン画像) (存(スキャン画像) (存(スキャン画像) (存(スキャン画像) (存(スキャン画像) (不) (スキャン画像) (不) (スキャン画像) (スキャン画面) (ホルダーの取り付け ホーム画面 ま マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット挿入 マット排出 マット(カッティングマット) マット(38粘着カッティングマット) マット(38粘着カッティングマット) マット(38粘着カッティングマット) マット(38粘着カッティングマット) マット(38粘着カッティングマット) マット(38 マット挿入 マット(38 マット挿入 マット(38 マット挿入 マット(38 マット) マット(38 マット挿入 マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット(38 マット) マット(38 マット) マット(38 マット) マット(38 マット) マット(38 マット) マット(38 マット) マット(38 マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット) マット(38 マット) マット) マット) マット(38 マット) マット) マット(38 マット) マット) マット) マット(38 マット) マット) マット) マット) マット(38 マット) マット) マット) マット) マット(38 マット) マット) マット) マット) マット) マット) マット) マット)	

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室」 にお問い合わせください。

■保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社は本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低5年間保有しています。性能部 品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室」にご相談ください。

■お客様相談室050-3786-1134

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの販売店または「お客様相談室」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室 Fax:052-824-3031

受付時間:月曜日~金曜日 9:00~17:30 休業日:土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機 械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
- 製品背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様 相談室」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了 承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。 http://www.brother.co.jp/

ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。 http://support.brother.co.jp/

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

891-Z01 Printed in China

